

第14回 香川県立病院経営評価委員会会議次第

日時：平成30年10月2日(火)14時00分～

場所：香川県社会福祉総合センター 7階 第1中会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 第3次県立病院中期実施計画の見直しについて

(2) 平成29年度県立病院事業決算（見込み）について

(3) 第3次県立病院中期経営目標及び中期実施計画の実施状況について

(4) その他

5 閉 会

(配布資料)

- 資料1 第3次県立病院中期実施計画の見直しの概要
- 資料2 平成29年度県立病院事業会計決算見込みの概要
- 資料3 中期実施計画の主な取組み
- 資料4 収支計画の達成状況
- 資料5 中期指標の達成状況

別紙資料 第3次県立病院中期実施計画（改定 平成30年3月30日）

香川県立病院経営評価委員会委員

役 職	氏 名	職 業 等
会 長	くめがわ はじめ 久米川 啓	一般社団法人香川県医師会 会長
委 員	おかざき みえこ 岡崎 美恵子	公認会計士
〃	きなぎ すけむ 佐柳 進	特定医療法人茜会 昭和病院 院長
〃	たにだ かずひさ 谷田 一久	株式会社ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
〃	なかにし くみこ 中西 久美子	香川県母子愛育連合会 副会長
〃	まなべ ようこ 真鍋 洋子	アイル・パートナーズ株式会社 代表取締役会長
〃	わだ よりとも 和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ大阪事務所 ヘルスケアコンサルティング パートナー

(委員は、五十音順)

第3次県立病院中期実施計画の見直しの概要

1 経緯

県立病院事業会計の平成28年度決算や平成29年度上半期実績において、主に次の理由で計画との乖離が生じていた。

○ 高度急性期医療の推進に伴い、高額な抗がん剤や診療材料の使用量増加など、材料費を中心に費用が大幅に増加するとともに、こうした費用にかかる控除対象外消費税も増加している。

○ 人員不足によるHCUの未開設等により、見込みに比べ収入減となっている。

このため、平成30年度以降の中期実施計画を収益と費用の両面から見直し、各病院が見直し後の計画に沿って、第3次中期経営目標の達成に向けて主体的に経営改善に取り組めるよう、計画を見直した。

2 見直し内容

○ 見直し対象期間 平成30年度から平成32年度まで

○ 見直しの概要

- ① 高度急性期医療への特化等により、増大する薬品費や診療材料費と見合いの収益を算入した。
- ② 人員不足により遅れている病床の稼働について、稼働のための増員による給与費の増加、及び稼働による収益の増加を反映した。
- ③ 平成28年度決算、平成29年度補正予算及び平成30年度当初予算を踏まえ、主に投資額が、将来に与える影響額を反映した。
- ④ 中期指標「④安定的な病院経営の確立」のうち、財政収支計画の見直しにより影響がある項目（入院単価・外来単価等）について、数値を見直した。

3 見直し結果

「第3次中期経営目標」の指標に適合する。

指標：平成32年度までに、単年度資金収支を黒字化する

<財政収支計画推移>

(単位:百万円)

	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画	H32計画
収 益	24,848	24,806	26,425	26,551	26,907
入院・外来収益	19,279	19,836	21,163	21,642	22,157
一般会計繰入金	2,533	2,563	2,803	2,780	2,624
その他	3,036	2,407	2,459	2,129	2,126
費 用	26,017	26,424	27,546	27,509	27,269
給与費	11,570	11,464	12,175	12,407	12,458
材料費	6,263	6,632	6,896	6,827	6,827
経費	4,357	4,708	4,747	4,666	4,665
減価償却費	2,176	2,256	2,287	2,081	1,635
その他	1,651	1,364	1,441	1,528	1,684
総収支	△ 1,169	△ 1,618	△ 1,121	△ 958	△ 362
資本的収支	△ 775	△ 822	△ 920	△ 531	△ 652
単年度資金収支	△ 301	△ 1,082	△ 855	△ 105	4

中期実施計画の見直し方法

①収益的収支

項目		H31～H32 計画の見直し方法	※H30 は H30 当初予算を使用	
収益	医業収益	入院収益・外来収益	H30 当初予算をベースに改善取組みを反映 1 中央病院 HCU、緩和ケア開床、地域連携の強化等を見込む。 2 丸亀病院 医師増、白鳥病院 地域包括の効果等を見込む。 3 材料費の増嵩見合い収益を計上する。	
		その他医業収益	一般会計負担金 H30 当初予算横置き その他 室料差額や委託料収入の増減を反映	
	医業外収益	一般会計繰入金	H30 当初予算を横置き ※施設・設備投資の影響額は反映	
		長期前受金戻入	(施設・設備投資の影響額を反映)	
		その他医業外収益	※委託料収入の増減を反映	
	特別利益		(施設・設備投資の影響額を反映)	
	費用	医業費用	給与費	退職給付費 将来退職者を推計 退職給付費以外 未稼働病床の稼働に必要な看護師、丸亀病院医師確保等を見込んだ H30 当初予算を横置き
材料費			薬品費・診療材料費は、高度医療に伴う高額な診療材料(心臓弁やカテーテル等)や腫瘍用薬等の使用増により、費用が現計画を大幅に上回る見込みとなっているため、以下を反映する。 1 使用増を抑制せずに伸びを見込む。 2 使用増見合いの収益を計上する。 3 材料差益の改善への取組み(診療材料の共同購入や薬価交渉、同種同効品の集約、廃棄減等)の効果を反映する。	
経費		経費は毎年度漸減する計画としていたが、委託料・修繕費は、人件費上昇や施設・設備の老朽化に伴う費用増が見込まれるなか、契約が複数年度に渡る場合があるなど、現計画との乖離が大きくなっているため、以下を反映する。 1 現状で必要となる費用を見込む。 2 改善への取組み(契約形態見直し等)の効果を反映する。		
減価償却費		(施設・設備投資の影響額を反映)		
その他医業費用		(施設・設備投資の影響額を反映)		
医業外費用		(施設・設備投資の影響額を反映) ※雑損失は H31 年 10 月から消費税 10%を想定		
特別損失				

②資本的収支

項目	H31～H32 計画の見直し方法	※H30 は H30 当初予算を使用
資本的収入	H29 補正予算、H30 当初予算及び H31 以降の施設・設備投資(施設・設備の更新、電子カルテ更新時期の変更、白鳥病院泌尿器科開設等)による後年度への影響を反映した。	
資本的支出		

平成29年度県立病院事業会計決算見込みの概要

資料2

① 収益的収支の状況

(消費税抜、単位:百万円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	増減	伸率
病院事業収益				
総収益	24,806	24,848	△ 42	△ 0.2
医業収益	20,543	20,010	533	2.7
うち入院収益	13,536	13,309	227	1.7
うち外来収益	6,300	5,970	330	5.5
医業外収益	4,246	4,159	87	2.1
うち一般会計繰入金	2,563	2,533	30	1.2
特別利益	17	679	△ 662	△ 97.5
病院事業費用				
総費用	26,424	26,017	407	1.6
医業費用	25,262	24,571	691	2.8
うち給与費	13,043	12,950	93	0.7
うち退職給付費	1,016	1,104	△ 88	△ 8.0
うち材料費	6,632	6,263	369	5.9
うち経費	3,129	2,977	152	5.1
うち減価償却費	2,256	2,176	80	3.7
医業外費用	1,049	1,019	30	3.0
特別損失	113	427	△ 314	△ 73.5
総収支	△ 1,618	△ 1,169	△ 449	
累積欠損金	△ 21,612	△ 19,994	△ 1,618	

② 病院ごとの収支状況

(単位:百万円)

病院名	項目	平成29年度	平成28年度	増減	主な増減
中央	総収益	20,411	20,530	△ 119	【収益】 ・入院収益 +186 ・外来収益 +312 ・特別利益 △672
	総費用	21,558	21,250	308	【費用】 ・給与費 +64 ・材料費 +340 ・経費 +150 ・特別損失 △320
	総収支	△ 1,147	△ 720	△ 427	
丸亀	総収益	1,564	1,595	△ 31	【収益】 ・入院収益 △53 ・外来収益 +16
	総費用	1,763	1,787	△ 24	【費用】 ・給与費 △4 ・経費 △23
	総収支	△ 199	△ 192	△ 7	
白鳥	総収益	2,831	2,723	108	【収益】 ・入院収益 +94 ・外来収益 +2
	総費用	3,102	2,980	122	【費用】 ・給与費 +32 ・材料費 +24 ・減価償却費 +46
	総収支	△ 271	△ 257	△ 14	
旧津田	総収益	0	0	0	
	総費用	1	0	1	【費用】 ・特別損失 +1
	総収支	△ 1	0	△ 1	
合計	総収益	24,806	24,848	△ 42	
	総費用	26,424	26,017	407	
	総収支	△ 1,618	△ 1,169	△ 449	

③ 患者数・診療単価・主な指標の状況

区分	入院									外来						主な指標			
	延患者数(人)			稼働病床利用率 (%)			診療単価(円)			延患者数(人)			診療単価(円)			項目	平成29年度	平成28年度	29計画
	平成29年度	平成28年度	増減	平成29年度	平成28年度	増減	平成29年度	平成28年度	増減	平成29年度	平成28年度	増減	平成29年度	平成28年度	増減	総収支(百万円)	△ 1,618	△ 1,169	△ 1,249
中央病院	154,198	156,657	△ 2,459	83.5	85.2	△ 1.7	73,792	71,442	2,350	250,800	251,611	△ 811	20,588	19,282	1,306	經常収支比率(%)	94.2	94.4	95.7
丸亀病院	38,105	40,825	△ 2,720	67.8	71.7	△ 3.9	15,536	15,796	△ 260	31,213	29,937	1,276	10,113	10,006	107	医業収支比率(%)	83.2	83.3	83.4
白鳥病院	37,767	33,514	4,253	69.0	61.2	7.8	41,456	43,921	△ 2,465	102,207	103,201	△ 994	8,027	7,934	93	人件費比率(%)	49.7	51.1	51.9
合計	230,070	230,996	△ 926	77.8	78.1	△ 0.3	58,835	57,614	1,221	384,220	384,749	△ 529	16,396	15,516	880	参考:総収支 (29年度2月補正比)	29決算(税抜) △ 1,618	29補正(税込) △ 1,620	増減 2

参考 香川県立病院の現状とこれまでの取組み

(1) 香川県立病院の現状等

平成 30 年 3 月 31 日現在

項 目	中央病院 (県の基幹病院)	丸亀病院 (県の精神医療の基幹病院)	白鳥病院 (特色ある地域の中核病院)
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、肝臓内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病内科、外科、頭頸(けい)部外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、整形外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科 (32科)	内科、心療内科、思春期心療内科、精神科、リハビリテーション科、歯科 (6科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (13科)
許可病床数	一般 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床) (稼働 508 床〔うち結核 5 床、感染症 2 床〕)	精神 215 床 (稼働 156 床)	一般 150 床 (稼働 150 床)
主な指定等	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センター ・基幹災害拠点病院 ・へき地医療支援センター ・地域がん診療連携拠点病院 ・DPC 適用病院 (特定病院群) ・地域医療支援病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急拠点病院 ・精神科救急輪番病院 ・精神科救急情報センター ・精神結核合併症患者への対応 ・医療観察法 (通院・鑑定) ・応急入院指定病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院群輪番制への参加 ・へき地医療拠点病院 ・無医地区への巡回診療 ・SARS 病床の設置 ・大川地区小児夜間救急医療への参加 ・広域救護病院 等

(2) 県立病院のこれまでの取組み

	第1次						第2次				第3次	
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
中央病院	基本構想策定	基本計画策定	設計発注	基本設計	実施設計	確認申請 工事発注	建築工事		開院準備	開院	第一種感染症病棟整備	
丸亀病院		あり方検討		急性期治療病棟設置		思春期・ ストレスケア 病棟設置						
	6病棟体制		5病棟体制 (1病棟閉鎖)		4病棟体制 (1病棟閉鎖)				3病棟体制 (1病棟休止)			
白鳥病院	基本計画策定	設計	基本設計	実施設計	建築工事	開院準備	開院			亜急性期 病棟廃止		地域包括ケア 病床設置
がん検診センター 【廃止】								廃止	中央病院へ 機能統合			
津田診療所 【廃止】	津田病院運営	廃止	津田診療所 設置・運営		移譲 さぬき市へ							

中期実施計画の主な取組み

病院局

区分	平成29年度の主な取組み	平成30年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の育成(感染管理分野の長期研修派遣) 医療安全研修会の開催 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携体制強化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【中央病院】 HCU開設、病院機能評価受診</p> <p>【丸亀病院】 デイケア推進</p> <p>【白鳥病院】 地域包括ケア病床開設</p> </div>	<p>①医療機能の充実</p> <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の育成(認知症看護分野、摂食・嚥下障害看護分野への派遣) 医療安全研修会の開催 医療事故防止マニュアルの充実 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【中央病院】 HCU開設、がんゲノム医療センター、緩和ケアセンターを設置</p> <p>【丸亀病院】 精神訪問診療の開始</p> </div>
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 白鳥病院における泌尿器科医師の確保 県健康福祉部による香川大学医学部の寄附講座を通じた、丸亀病院医師確保の取組み <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップの積極的な受入れ、施設見学会(中央病院ホスピタルツアー)の実施 看護師採用試験における専門試験の廃止 専門看護師の育成支援体制の整備 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 白鳥病院の医師確保 中央病院における臨床遺伝専門医の確保、育成支援体制の構築 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップの積極的な受入れ 学校訪問の充実(関西方面への訪問)、採用試験の充実(大阪会場での開催) 専門看護師の長期研修派遣 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 院内保育所の充実(保育時間の延長、夜間保育回数増の検討)
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時備蓄物資等にかかる一般会計繰入金の活用検討 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時備蓄物資等の計画的な整備の開始 災害時連絡体制の整備・強化
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営会議・経営評価委員会の開催 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 中期実施計画の見直し <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 未稼働病床の早期稼働の検討(HCU、緩和ケア)、一般会計繰入金の確保、補助金等活用 医療機器の計画的な整備のため各病院の要望提出時期の前倒し 未利用地の売却等完了(旧津田病院医師公舎・丸亀病院医師公舎の売却) <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料のベンチマーク導入及び共同購入による価格交渉力の強化(中央、29年7月～) 医療機器の高額な保守委託料の見直し(中央、29年4月～) <p>④資金収支の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期預金の部分的な長期預入による運用益の確保(29年5月～) 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営会議(管理会計の強化)・経営評価委員会の開催 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 会計処理の統一化・標準化の検討 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定後の新たな施設基準届出促進 医療機器の計画的な整備のため各病院の要望提出時期の前倒し <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料の共同購入の効果検証の実施 中央病院の情報システム更新に向けた検討 中央病院・白鳥病院一括の薬価交渉の検討 <p>④資金収支の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収金の発生防止対策(カード支払い対応等(外国人旅行者対応含む))

収支計画の達成状況

(「H29計画差」はH29計画額とH29実績額の差、
「H29前年度差」はH28実績額とH29実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計画差の要因、取組み等	
									H29計画差	H29前年度差
①収益的収支										
収益計 (A)	計画			24,111	24,523	26,425	26,551	26,907	283	
	実績	23,044	24,141	24,848	24,806				△ 42	
医業収益 (A1)	計画			20,346	20,572	22,386	22,906	23,434	448	
	実績	19,752	20,191	20,478	21,020				542	
入院収益	計画			13,616	13,998	14,587	15,066	15,581	△ 462	白鳥病院の地域包括ケア病床を開設したが、中央病院のHCUの未開設等により、延患者数が少なかった。
	実績	13,216	13,239	13,309	13,536				227	
外来収益	計画			5,488	5,522	6,576	6,576	6,576	778	中央病院、白鳥病院において、高額な抗がん剤を用いた化学療法が増加した。
	実績	5,483	5,860	5,970	6,300				330	
その他医業収益	計画			1,242	1,052	1,223	1,264	1,277	132	
	実績	1,053	1,092	1,199	1,184				△ 15	
一般会計負担金	計画			486	289	483	483	483	188	救急運営費のH26実績に基づく繰入額が、新中央病院移転後の対象経費等見直しにより、増加した。
	実績	289	349	468	477				9	
その他	計画			756	763	740	781	794	△ 56	中央病院において、人間ドックが増加した一方で、生活習慣病、特定がん検診、PETの件数が減少した。
	実績	764	743	731	707				△ 24	
医業外収益 (A2)	計画			3,594	3,951	4,039	3,641	3,464	△ 182	
	実績	3,220	3,615	3,691	3,769				78	
一般会計繰入金	計画			2,035	2,232	2,320	2,297	2,141	△ 146	
	実績	2,127	2,091	2,065	2,086				21	
負担金	計画			2,033	2,230	2,317	2,294	2,138	△ 147	小児医療の収支改善、共済組合追加費用の減少等に伴い、繰入額が減少した。
	実績	2,124	2,089	2,063	2,083				20	
補助金	計画			2	2	3	3	3	1	
	実績	3	2	2	3				1	
長期前受金戻入	計画			1,036	1,149	1,199	796	776	△ 55	感染症病棟整備事業の繰越(H27→H28)及び財源変更(負担金→企業債)に伴い、当年度収益化額が減少した。
	実績	562	1,002	1,040	1,094				54	
その他医業外収益	計画			523	570	520	548	547	19	
	実績	531	522	586	589				3	
特別利益	計画			171	0	0	4	9	17	H28の旧中央病院跡地管理換の売却益、診療報酬再請求に伴う過年度益等がなかった。
	実績	72	335	679	17				△ 662	

収支計画の達成状況

〔H29計画差〕はH29計画額とH29実績額の差、
〔H29前年度差〕はH28実績額とH29実績額の差を表す。

病院局

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差		計画差の要因、取組み等
									H29計画差	H29前年度差	
費用計 (B)	計画			25,396	25,772	27,546	27,509	27,269		652	
	実績	25,074	26,035	26,017	26,424					407	
医業費用 (B1)	計画			24,290	24,673	26,318	26,198	25,867		589	
	実績	23,109	24,078	24,571	25,262					691	
給与費	計画			11,485	11,942	12,175	12,407	12,458		△ 478	
	実績	10,901	11,269	11,570	11,464					△ 106	
退職給付費	計画			896	1,263	909	1,140	1,191		△ 247	退職者の減(定年退職者△2名、勸奨退職者△5名)、引当金△128百万円
	実績	778	1,135	1,104	1,016					△ 88	
退職給付費以外	計画			10,589	10,679	11,266	11,267	11,267		△ 231	定数内職員の減等に伴い、給料及び法定福利費が減少した。
	実績	10,123	10,134	10,466	10,448					△ 18	
材料費	計画			5,665	5,763	6,896	6,827	6,827		869	
	実績	5,649	5,962	6,263	6,632					369	
薬品費	計画			2,892	2,892	3,664	3,586	3,586		512	中央病院、白鳥病院において、がん化学療法に使用する腫瘍用薬が増加したことによる。
	実績	2,892	3,103	3,140	3,404					264	
診療材料費	計画			2,717	2,813	3,192	3,185	3,185		380	中央病院において、高額な心臓弁や血管内手術用カテーテル等の使用量が増加したことによる。
	実績	2,699	2,816	3,079	3,193					114	
経費	計画			4,742	4,533	4,747	4,666	4,665		176	洗濯、給食配膳、医事業務等の委託料+152百万円、修繕費+78百万円、光熱水費△45百万円、報酬△9百万円
	実績	4,063	4,430	4,357	4,709					352	
減価償却費	計画			2,187	2,227	2,287	2,081	1,635		29	H28に整備した第一種感染症病棟分が増加した。
	実績	2,178	2,219	2,176	2,256					80	
その他医業費用	計画			211	208	213	217	282		△ 7	
	実績	318	198	205	201					△ 4	
医業外費用 (B2)	計画			947	940	1,066	1,151	1,242		109	控除対象外消費税が+110百万円増加し、757百万円となった。
	実績	981	986	1,019	1,049					30	
特別損失	計画			159	159	162	160	160		△ 46	H28の診療報酬再請求に伴う過年度損等がなかった。
	実績	984	971	427	113					△ 314	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 3,944	△ 4,101	△ 3,932	△ 3,292	△ 2,433		△ 141	
	実績	△ 3,357	△ 3,887	△ 4,093	△ 4,242					△ 149	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 1,297	△ 1,090	△ 959	△ 802	△ 211		△ 432	
	実績	△ 1,118	△ 1,258	△ 1,421	△ 1,522					△ 101	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 1,285	△ 1,249	△ 1,121	△ 958	△ 362		△ 369	
	実績	△ 2,030	△ 1,894	△ 1,169	△ 1,618					△ 449	

収支計画の達成状況

(「H29計画差」はH29計画額とH29実績額の差、
「H29前年度差」はH28実績額とH29実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	計画差の要因、取組み等
									H29前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			1,268	1,190	1,186	1,384	1,018	168	現金支出を伴わない過年度修正損があったこと、長期前受金戻入が少なかったことにより、留保資金が増加した。
	実績	2,045	2,136	1,643	1,358				△ 285	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			2,271	1,315	1,474	1,192	2,604	△ 14	
	実績	1,041	1,774	2,384	1,301				△ 1,083	
企業債	計画			872	424	490	585	1,852	△ 44	中央病院のX線一般撮影システム、白鳥病院の泌尿器科電子内視鏡システム等整備に伴う借入である。
	実績	695	366	1,081	380				△ 701	
長期借入金	計画			79	112	94	103	114	21	企業債との財源調整に伴い、増加した。
	実績	53	61	80	133				53	
一般会計繰入金	計画			745	779	889	503	637	1	企業債償還金額の増減に伴い、増加した。
	実績	270	707	746	780				34	
負担金	計画			745	778	880	493	621	2	
	実績	268	707	746	780				34	
補助金	計画			0	1	9	10	16	△ 1	
	実績	2	0	0	0				0	
その他	計画			575	0	1	1	1	8	医師公舎売却代金 旧津田南分2,800千円、丸亀分1,890千円
	実績	23	640	477	8				△ 469	
支出計 (D)	計画			2,836	2,144	2,394	1,723	3,256	△ 21	
	実績	1,364	2,029	3,159	2,123				△ 1,036	
建設改良費	計画			1,339	576	624	730	2,009	△ 22	白鳥病院のCTは保守延長により更新を延期した。H28実施した第一種感染症病棟整備がH29はなかった。
	実績	823	606	1,658	554				△ 1,104	
企業債償還金	計画			1,447	1,514	1,711	910	1,160	1	
	実績	471	1,360	1,447	1,515				68	
その他	計画			50	54	59	83	87	0	
	実績	70	63	54	54				0	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 565	△ 829	△ 920	△ 531	△ 652	7	
	実績	△ 323	△ 255	△ 775	△ 822				△ 47	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 582	△ 888	△ 855	△ 105	4	△ 194	
	実績	△ 308	△ 13	△ 301	△ 1,082				△ 781	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

病院局

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
1. 良質な医療サービスの提供														
②医療の安全と質の向上														
7	認定看護師数	人	計画			21	23	25	27	29	△ 1	D	C	H29脳卒中リハ1名(中央)合格、皮膚・排泄ケア(白鳥)嘱託1名採用。H30 感染管理1名合格。
			実績	19	21	20	22		2					
8	医療安全研修受講率	%	計画			65.0	75.0	85.0	95.0	100.0	△ 31.5	D	E	三重大学医学部附属病院 兼児教授「特定機能病院における医療安全管理部の役割と活動」
			実績	46.0	61.8	47.9	43.5		△ 4.4					
③患者サービスの向上														
11	患者満足調査による満足度(入院)	%	計画			87.0	88.0	89.0	89.5	90.0	0.0	B	B	前年度に続き、「入院中の食事」の満足度60%が最も低かった。(前年度2%悪化)
			実績	87.0	86.0	88.0	88.0		0.0					
12	患者満足調査による満足度(外来)	%	計画			85.5	87.0	88.5	89.5	90.0	2.0	C	B	「あなたはこの病院を家族や友人・知人に紹介しますか」の満足度73%が最も低かった。(前年度7%改善)
			実績	87.0	84.0	84.0	89.0		5.0					
2. 医療人材の確保・育成														
①医師の確保・育成														
18	医師充足率	%	計画			92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	△ 1.5	B	D	中央・白鳥で麻酔科医等の退職により欠員が生じた。白鳥はH29年度途中に外科、泌尿器科で医師増。
			実績	87.6	91.9	96.3	92.5		△ 3.8					
②医療スタッフの確保・育成														
20	新卒看護師の離職率	%	計画			14.0	12.5	11.0	9.5	8.5	13.1	B	E	新任看護師が先輩看護師とペアで業務を行う「ペア体制」を取り入れ、新任の不安解消等を図っている。
			実績	14.1	19.6	13.3	25.6		12.3					
3. 災害等への対応力の強化														
①大規模災害への対応力の強化														
23	業務継続計画(BCP)策定病院数	箇所	計画			3	3	3	3	3	0	A	A	H28年度に策定した計画に基づき、必要な災害用備蓄物資の予算化に取組んだ。
			実績	1	1	3	3		0					
4. 安定的な病院経営の確立														
①経営力の強化														
27	経営会議・経営評価委員会の開催	回	計画	a.経営会議は12回、b.評価委員会は毎年1回開催							0	A	A	計画どおり開催し、経営状況を把握・分析するとともに、経営改善に向け、収支改善の取組みを行った。
			実績	a.12、b.1	a.10、b.1	a.12、b.1	a.12、b.1				a.0、b.0			
28	職員提案からの実現件数(累計)	件	計画			20	40	60	80	100	△ 5	B	C	H29 提案総数44件、うち実施済み・実施中15件。病棟間移動の改善、服薬飲み忘れ対策、院内研修会等。
			実績	86	106	20	35				15			

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

病院局

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
③費用の適正化														
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画			52.0	51.9	50.3	49.2	48.1	△ 2.2	B	B	高度医療の推進により増収となった一方で、定数内職員の不足により給与費(退職給付費を除く)が低減した。
			実績	51.3	50.2	51.1	49.7			△ 1.4				
40	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画			56.4	58.0	54.4	54.2	53.2	△ 3.5	E	B	退職給付費が計画より少なかったことによる。
			実績	55.2	55.8	56.5	54.5			△ 2.0				
41	経常収支比率	%	計画			94.9	95.7	96.5	97.1	99.2	△ 1.5	E	E	委託料、修繕費等経費が増加したことによる。
			実績	95.4	95.0	94.4	94.2			△ 0.2				
42	医業収支比率	%	計画			83.8	83.4	85.1	87.4	90.6	△ 0.2	E	E	委託料、修繕費等経費が増加したことによる。
			実績	85.5	83.9	83.3	83.2			△ 0.1				
43	材料費対医業収益比率	%	計画			27.8	28.0	30.8	29.8	29.1	3.6	E	E	医業収益は計画比+2.2%、前年度比+2.6%と伸びており、前年度に比べ材料への依存度は改善した。
			実績	28.6	29.5	30.6	31.6			1.0				
44	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画			14.2	14.1	16.4	15.7	15.3	2.1	A	E	がん化学療法で使用する高額な腫瘍用薬の使用量が増加した。
			実績	14.6	15.4	15.3	16.2			0.9				
45	うち 診療材料費医業収益比率	%	計画			13.4	13.7	14.3	13.9	13.6	1.5	E	E	中央病院において、高度医療により、高額診療材料を使用する高額手術が増加したことによる。
			実績	13.7	13.9	15.0	15.2			0.2				
④資金収支の改善														
46	単年度資金収支	百万円	計画			△ 582	△ 888	△ 855	△ 105	4	△ 194	B	E	中央病院におけるHCUの未開設及び委託料、修繕費等経費が増加したことによる。
			実績	△ 308	△ 13	△ 301	△ 1,082				△ 781			

中期実施計画の主な取組み

中央病院

区分	平成29年度の主な取組み	平成30年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急入院体制運用の継続、院内掲示板を活用した緊急ベッド確保の情報提供 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器使用や共同利用の継続 クリニカルパスの作成数・適用率の向上 インシデント報告割合増加の啓発活動 病院機能評価Ver3.1.1受審(平成30年3月2日付け認定) 地域連携パス充実 医療の質評価指標の活用 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サービス、職員マナーの向上 外来待ち時間短縮の取組み 病院食の充実 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介医療機関数の増加のための紹介PR事業の継続 病院訪問による連携協力体制の維持・強化 市民公開講座、出前講座等の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急車搬入患者数の増加 高額手術件数(50,000点以上)の増加 HCU病棟の開設 緩和ケア推進室の設置 がんゲノム医療センターの設置 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額医療機器使用や共同利用の継続 クリニカルパスの作成数・適用率の向上 インシデント報告割合増加の啓発活動 病院機能評価Ver3.1.1受審(平成30年3月2日付け認定)のフォローアップ 医療安全に関する外部評価委員会の設置 地域連携パス充実 医療の質評価指標の活用 抗菌薬の適正使用の徹底 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サービス、職員マナーの向上 外来待ち時間短縮の取組み 病院食の充実 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介医療機関数の増加のための紹介PR事業の継続 病院訪問による連携協力体制の維持・強化 市民公開講座、出前講座等の開催
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 学生実習・見学受入れの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各医療職養成機関からの実習受入れの継続 看護師養成機関への講師派遣などの協力態勢の継続 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師業務負担軽減推進のための医師負担軽減委員会の活動継続 看護師負担軽減推進のための看護師負担軽減アンケートの実施 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 学生実習・見学受入れの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各医療職養成機関からの実習受入れの継続 看護師養成機関への講師派遣などの協力態勢の継続 <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師業務負担軽減推進のための医師負担軽減委員会の活動継続 医療従事者の負担軽減計画の策定及び定期評価
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の定期的実施 DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 災害時協定締結先の拡大 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症専門医による研修会の開催 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の定期的実施 DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 災害時協定締結先の拡大 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症専門医による研修会の開催
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員提案の募集による職員の経営参加 DPC分析ツールの活用 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな施設基準の取得 算定漏れ防止のための情報提供 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術室原価管理システムの導入による材料使用等の適正化 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 診療材料専門スタッフ常駐と全国共同購入による材料費削減 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員提案の募集による職員の経営参加 DPC機能評価係数Ⅱを高めるための講演会開催 他病院とのベンチマークの実施及び視察 DPC分析ツールの活用 職員への診療実績指標の提供 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな施設基準の取得 算定漏れ防止のための情報提供 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術室原価管理システムの導入による材料使用等の適正化 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 診療材料専門スタッフ常駐と全国共同購入による材料費削減

収支計画の達成状況

〔H29計画差〕はH29計画額とH29実績額の差、
〔H29前年度差〕はH28実績額とH29実績額の差を表す。

中央病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	計画差の要因、取組み等
									H29前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画			19,601	19,937	21,591	21,670	21,994	474	
	実績	18,546	19,770	20,530	20,411				△ 119	
医業収益 (A1)	計画			16,739	16,926	18,520	19,010	19,494	644	
	実績	16,232	16,754	17,090	17,570				480	
入院収益	計画			11,352	11,700	12,246	12,693	13,164	△ 322	延入院患者数の減(△13,702人)による。
	実績	10,973	11,129	11,192	11,378				186	
外来収益	計画			4,298	4,326	5,238	5,238	5,238	838	注射料の増、検査料の増、放射線治療料の増加による。
	実績	4,358	4,688	4,852	5,164				312	
その他医業収益	計画			1,089	900	1,036	1,079	1,092	128	
	実績	901	937	1,046	1,028				△ 18	
一般会計負担金	計画			419	223	401	401	401	184	救急運営費のH26実績に基づく繰入額が、新中央病院移転後の対象経費等見直しにより、増加した。
	実績	223	281	400	407				7	
その他	計画			670	677	635	678	691	△ 56	人間ドックが増加した一方で、生活習慣病、特定がん検診、PETの件数が減少した。
	実績	678	656	646	621				△ 25	
医業外収益 (A2)	計画			2,691	3,011	3,071	2,660	2,500	△ 171	
	実績	2,245	2,684	2,767	2,840				73	
一般会計繰入金	計画			1,291	1,487	1,552	1,529	1,374	△ 143	
	実績	1,350	1,309	1,303	1,344				41	
負担金	計画			1,289	1,485	1,549	1,526	1,371	△ 144	小児医療の収支改善、共済組合追加費用の減少等に伴い、繰入額が減少した。
	実績	1,347	1,307	1,301	1,341				40	
補助金	計画			2	2	3	3	3	1	
	実績	3	2	2	3				1	
長期前受金戻入	計画			932	1,021	1,028	628	623	△ 50	感染症病棟整備事業の繰越(H27→H28)及び財源変更(負担金→企業債)に伴い、当年度収益化額が減少した。
	実績	434	920	935	971				36	
その他医業外収益	計画			468	503	491	503	503	22	
	実績	461	455	529	525				△ 4	
特別利益	計画			171	0	0	0	0	1	H28の旧中央病院跡地管理換の売却益、診療報酬再請求に伴う過年度益等がなかった。
	実績	69	332	673	1				△ 672	

収支計画の達成状況

〔H29計画差〕はH29計画額とH29実績額の差、
〔H29前年度差〕はH28実績額とH29実績額の差を表す。

中央病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	計画差の要因、取組み等
									H29前年度差	
費用計 (B)	計画			20,639	20,903	22,367	22,383	22,144	655	
	実績	20,096	21,279	21,250	21,558				308	
医業費用 (B1)	計画			19,718	19,988	21,338	21,269	20,952	593	
	実績	18,528	19,498	19,982	20,581				599	
給与費	計画			9,036	9,401	9,603	9,788	9,829	△ 432	
	実績	8,517	8,811	9,043	8,969				△ 74	
退職給付費	計画			708	998	727	912	953	△ 194	
	実績	621	905	877	804				△ 73	
退職給付費以外	計画			8,328	8,403	8,876	8,876	8,876	△ 238	定数内職員の減等に伴い、給料及び法定福利費が減少した。
	実績	7,896	7,906	8,166	8,165				△ 1	
材料費	計画			4,892	4,949	5,890	5,901	5,901	865	
	実績	4,851	5,165	5,474	5,814				340	
薬品費	計画			2,496	2,496	3,097	3,091	3,091	462	外来通院治療センターの患者増加に伴う腫瘍用薬の増加による。
	実績	2,496	2,671	2,730	2,958				228	
診療材料費	計画			2,346	2,401	2,759	2,759	2,759	425	高額手術の増加に伴う高額材料費(心臓弁、電極カテーテル(アブレーション等)、血管内手術用カテーテル、整形インプラント(脊椎)の使用量の増加による。
	実績	2,303	2,456	2,706	2,826				120	
経費	計画			3,755	3,580	3,741	3,661	3,660	146	修繕費(MRI装置の修繕)、委託料(長期継続契約の更新に基づく委託料の拡大)の増加による。
	実績	3,111	3,492	3,437	3,726				289	
減価償却費	計画			1,863	1,873	1,922	1,723	1,301	22	
	実績	1,814	1,862	1,861	1,895				34	
その他医業費用	計画			172	185	182	196	261	△ 8	
	実績	235	168	167	177				10	
医業外費用 (B2)	計画			772	766	878	964	1,042	111	その他雑損失の増加(材料費や委託料に伴う消費税の増加)
	実績	792	814	847	877				30	
特別損失	計画			149	149	151	150	150	△ 49	
	実績	776	967	421	100				△ 321	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 2,979	△ 3,062	△ 2,818	△ 2,259	△ 1,458	51	外来収益の増加による
	実績	△ 2,296	△ 2,744	△ 2,892	△ 3,011				△ 119	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 1,060	△ 817	△ 625	△ 563	0	△ 231	他会計負担金、長期前受金戻入の減、その他雑損失の増による
	実績	△ 843	△ 874	△ 972	△ 1,048				△ 76	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 1,038	△ 966	△ 776	△ 713	△ 150	△ 181	他会計負担金、長期前受金戻入の減、その他雑損失の増による
	実績	△ 1,550	△ 1,509	△ 720	△ 1,147				△ 427	

収支計画の達成状況

（「H29計画差」はH29計画額とH29実績額の差、
「H29前年度差」はH28実績額とH29実績額の差を表す。）

中央病院

（単位 百万円）

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	計画差の要因、取組み等
									H29前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			1,019	950	977	1,185	832	156	現金支出を伴わない過年度修正損があったこと、長期前受金戻入が少なかったことにより、留保資金が増加した。
	実績	1,726	1,838	1,398	1,106				△ 292	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			1,707	986	1,238	891	2,383	67	
	実績	722	1,565	1,829	1,053				△ 776	
企業債	計画			410	219	428	462	1,800	49	建設改良費の増に伴い、借り入れが多かった。
	実績	503	233	627	268				△ 359	
長期借入金	計画			64	94	75	86	97	17	
	実績	37	47	66	111				45	
一般会計繰入金	計画			658	673	735	343	486	1	
	実績	161	645	659	674				15	
負担金	計画			658	673	726	333	470	1	
	実績	161	645	659	674				15	
補助金	計画			0	0	9	10	16	0	
	実績	0	0	0	0				0	
その他	計画			575	0	0	0	0	0	
	実績	21	640	477	0				△ 477	
支出計 (D)	計画			2,180	1,706	2,000	1,259	2,880	64	
	実績	935	1,752	2,511	1,770				△ 741	
建設改良費	計画			858	349	539	585	1,935	64	計画時には想定していなかったデジタル式X線一般撮影システムを更新したことによる。
	実績	610	456	1,185	413				△ 772	
企業債償還金	計画			1,285	1,316	1,417	608	877	0	
	実績	277	1,254	1,285	1,316				31	
その他	計画			37	41	44	66	68	0	
	実績	48	42	41	41				0	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 473	△ 720	△ 762	△ 368	△ 497	3	
	実績	△ 213	△ 187	△ 682	△ 717				△ 35	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 492	△ 736	△ 561	104	185	△ 22	
	実績	△ 37	142	△ 4	△ 758				△ 754	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を更に読み替える。

中央病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
1. 良質な医療サービスの提供														
①医療機能の充実														
1	救急車受入(搬入)患者数	人	計画			3,500	3,550	3,600	3,650	3,700	△ 207	E	E	救急・ICUベッド満床などの理由により、救急車の受入ができなかったケースが増加した。
			実績	3,514	3,569	3,404	3,343			△ 61				
2	高額手術件数(10,000点以上)	件	計画			5,380	5,440	5,470	5,490	5,640	329	B	A	消化器内科(+49件)、循環器内科(+52件)、整形外科(+54件)、眼科(+52件)、歯科口腔外科(+37件)などが増加した。
			実績	5,046	5,328	5,580	5,769			189				
②医療の安全と質の向上														
9	インシデント報告件数	件	計画			3,050	3,070	3,090	3,110	3,110	△ 128	D	D	医療安全研修会等を通じて、報告推進の啓発を実施する。
			実績	2,839	3,038	3,034	2,942			△ 92				
10	クリニカルパス適用率	%	計画			50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	△ 1.9	B	C	引き続き、パスの新規作成及び修正等を行い、適用率の向上を図る。
			実績	49.7	49.8	50.0	50.1			0.1				
③患者サービスの向上														
13	外来待ち時間の短縮 (予約時間終期～診療開始)	分	計画			14	14	14	14	14	8	A	E	29年度から患者待ち時間について、アンケートにより患者さんに記載いただく方法から予約時間と診察開始時間との差によりデータを抽出する方法に変更し、精度を高めた。
			実績	14	15	9	22			13				
④地域医療への貢献														
14	患者紹介率	%	計画			73.0	74.0	76.0	78.0	80.0	△ 1.1	B	D	紹介患者の減、初診患者の増、休日夜間患者の減による。
			実績	62.8	73.7	74.8	72.9			△ 1.9				
15	患者逆紹介率	%	計画			78.0	78.0	78.0	79.0	80.0	1.7	A	B	診療情報提供患者の減少による。
			実績	71.1	80.7	87.6	79.7			△ 7.9				
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			1,360	1,370	1,380	1,390	1,400	70	B	A	病院訪問、ホームページ等による地道なPRにより増加。
			実績	1,353	1,402	1,389	1,440			51				
17	公開講座等開催回数	回	計画			22	22	22	22	22	6	E	A	公開講座、診療科毎に実施している他の病院や診療所の医師も参加した勉強会を積極的に開催した。
			実績	22	11	7	28			21				
2. 医療人材の確保・育成														
①医師の確保・育成														
19	卒後臨床研修医充足率	%	計画			77.4	93.5	100.0	100.0	100.0	△ 25.8	E	E	昨年度から1年目研修医が減少した。(12名⇒11名)
			実績	76.0	75.0	71.0	67.7			△ 3.3				
②医療スタッフの確保・育成														
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			500	500	500	500	500	14	A	A	28年度と同様、積極的に実習生の受入れを実施した。
			実績	501	470	515	514			△ 1				
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			70	70	70	70	70	△ 5	D	C	28年度と同様、積極的に実習生の受入れを実施した。
			実績	50	83	64	65			1				

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

中央病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
3. 災害等への対応力の強化														
①大規模災害への対応力の強化														
24	DMAT数(災害派遣医療チーム数)	チーム	計画			4	4	4	4	4	0	A	A	28年度と同様のチーム数を継続的に編成した。
			実績	3	3	4	4		0					
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			5	6	6	6	6	△1	E	C	基幹災害拠点病院として、災害急性期の対応能力を強化するため、防災訓練を実施した。
			実績	5	5	3	5		2					
②感染症対策の推進														
26	感染症専門医による研修会開催件数	件	計画			2	2	2	2	2	10	A	A	県の感染症拠点施設として、感染症医療の充実を図るため、H28年度より多くの教育、研修を実施した。
			実績	1	1	9	12		3					
4. 安定的な病院経営の確立														
②収益の確保														
29	稼働病床利用率	%	計画			90.0	90.0	82.2	86.8	90.0	△6.5	E	E	延べ入院患者数の減、平均在院日数の短縮による。
			実績	88.9	87.1	85.2	83.5		△1.7					
30	入院単価	円	計画			68,577	69,684	78,721	75,494	75,794	4,108	B	B	高額手術数の増による。
			実績	67,197	69,270	71,442	73,792		2,350					
31	外来単価	円	計画			17,723	17,729	21,047	21,047	21,047	2,859	B	B	主にがん患者の注射料の増、放射線治療、投薬料の増。
			実績	17,198	18,172	19,282	20,588		1,306					
32	1日平均入院患者数	人	計画			454	460	426	459	476	△38	E	E	消化器一般外科、脳神経外科、糖尿病内科等の減。
			実績	447	439	429	422		△7					
33	1日平均外来患者数	人	計画			1,000	1,000	1,020	1,020	1,024	28	A	A	肝臓内科、腎臓・腎臓膠原病内科、消化器一般外科、脳神経外科、皮膚科、リハビリテーション科等の増。
			実績	1,039	1,062	1,035	1,028		△7					
34	新入院患者数	人	計画			13,540	13,650	13,281	13,914	14,350	△620	C	E	消化器一般外科、脳神経外科、糖尿病内科、小児科等の減。
			実績	13,166	13,075	13,211	13,030		△181					
35	新外来患者数	人	計画			26,840	26,840	26,840	26,840	26,840	515	A	A	歯科口腔外科、小児科、心臓血管外科等の増。
			実績	30,825	28,322	27,360	27,355		△5					
36	検診センター検診者数	人	計画			8,801	8,837	8,837	8,837	8,801	△1,542	E	E	生活習慣病、特定がん、PET-CTの検診者の減。
			実績	9,050	8,061	7,466	7,295		△171					
37	平均在院日数	日	計画			11.9	11.9	11.5	11.4	11.5	△0.7	A	A	心カテなどの短期入院が比較的多い循環器内科患者数増えている影響など。
			実績	11.8	11.7	11.2	11.2		0.0					

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

中央病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

※減少期待指標は、以上を以下、未達を超に読み替える。

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
③費用の適正化														
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画			70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	9.3	B	B	後発薬発売状況を常時チェックし、使用量の多い薬剤を中心に適切な切替を実施したことによる。
			実績	47.7	67.5	73.7	79.3			5.6				
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画			49.8	49.6	47.9	46.7	45.5	△ 3.1	B	B	収益の増加に伴う人件費比率の減による。
			実績	48.6	47.2	47.8	46.5			△ 1.3				
40	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画			54.0	55.5	51.9	51.5	50.4	△ 4.5	B	B	収益の増加に伴う人件費比率の減による。
			実績	52.5	52.6	52.9	51.0			△ 1.9				
41	経常収支比率	%	計画			94.8	96.1	97.2	97.5	100.0	△ 1.0	B	E	他会計負担金、長期前受金戻入の減、その他雑損失の増による。
			実績	95.6	95.7	95.3	95.1			△ 0.2				
42	医業収支比率	%	計画			84.9	84.7	86.8	89.4	93.0	0.7	B	B	外来収益の増による。
			実績	87.6	85.9	85.5	85.4			△ 0.1				
43	材料費対医業収益比率	%	計画			29.2	29.2	31.8	31.0	30.3	3.9	E	E	腫瘍用薬の増加、高額材料費の使用増による。
			実績	29.9	30.8	32.0	33.1			1.1				
44	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画			14.9	14.7	16.7	16.3	15.9	2.1	E	E	外来通院治療センターの患者増加に伴う腫瘍用薬の増加による。
			実績	15.4	15.9	16.0	16.8			0.8				
45	うち 診療材料費医業収益比率	%	計画			14.2	14.2	14.9	14.5	14.2	1.9	E	E	高額手術の増加に伴う高額材料費(心臓弁、電極カテーテル、血管内手術用カテーテル、整形インプラント等)の使用量の増加による。
			実績	14.2	14.7	15.8	16.1			0.3				

中期実施計画の主な取組み

丸亀病院

区分	平成29年度の主な取組み	平成30年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急・急性期医療の充実 ・ 専門外来の継続実施(児童・思春期、物忘れ外来をそれぞれ1日/週実施) ・ 訪問看護、デイケアの充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全カンファレンス(1回/週)におけるインシデントレポートの共有 ・ 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週 ラウンド実施) ・ クリニカルパスの推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度調査(1回/年)の実施 ・ 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 ・ 病院のホームページの充実 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座(1回/年)の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急・急性期医療の充実 ・ 専門外来の継続実施(児童・思春期、物忘れ外来をそれぞれ1日/週実施) ・ 訪問診療の実施 ・ 訪問看護、デイケアの充実 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全カンファレンス(1回/週)における医療安全の推進に関する対応策の検討 ・ 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週 ラウンド実施) ・ クリニカルパス、地域連携パスの推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度調査(1回/年)の実施 ・ 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 ・ 病院のホームページの充実 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座(1回/年)の開催
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香川大学医学部に設置する寄附講座により、30年度より医師1名増 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生、実習生の受け入れ <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場巡視の実施(1回/週) ・ ストレスチェックの実施 ・ ワークライフバランスの取り組みの推進(終業時間の院内放送など) 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連大学との連携強化など <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生、実習生の受け入れ <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークライフバランスの取り組みの更なる推進(看護職のインデックス調査への参加など)
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の実施 ・ 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の充実 ・ 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施 ・ 大規模地震時医療活動訓練におけるDPAT(災害派遣精神医療チーム)の本部訓練への協力
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案の実施 ・ 運営会議(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、事務職員、医事委託業者等と情報共有を図り、診療報酬請求漏れを防止 ・ 一般会計繰入金見直しの実施 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃等委託業務契約事務の適正な執行 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案の促進 ・ 運営会議(1回/月)や医局会などにおける経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、事務職員、医事委託業者等と情報共有を図り、診療報酬請求漏れを防止 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食業務委託に係る契約金額の見直し

収支計画の達成状況

〔H29計画差〕はH29計画額とH29実績額の差、
 〔H29前年度差〕はH28実績額とH29実績額の差を表す。

丸亀病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	計画差の要因、取組み等
									H29前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画			1,643	1,654	1,689	1,709	1,706	△ 90	
	実績	1,620	1,595	1,595	1,564				△ 31	
医業収益 (A1)	計画			1,015	1,017	1,089	1,096	1,103	△ 81	
	実績	989	976	972	936				△ 36	
入院収益	計画			658	658	678	687	694	△ 66	入院患者数の減少及び急性期治療病棟入院料算定患者数の減少に伴い、入院収益が減少した。
	実績	642	623	645	592				△ 53	
外来収益	計画			329	332	360	360	360	△ 17	前年度と比較すると外来患者数増加に伴い外来収益が増加したが、計画値には達しなかった。
	実績	320	325	299	315				16	
その他医業収益	計画			28	27	51	49	49	2	
	実績	27	28	28	29				1	
一般会計負担金	計画			17	16	22	22	22	3	
	実績	16	16	17	19				2	
その他	計画			11	11	29	27	27	△ 1	改修工事に伴う4病棟仮移転中は室料差額を徴収しなかったため。
	実績	11	12	11	10				△ 1	
医業外収益 (A2)	計画			628	637	600	613	603	△ 14	
	実績	630	619	623	623				0	
一般会計繰入金	計画			561	562	559	559	559	△ 8	
	実績	572	565	558	554				△ 4	
負担金	計画			561	562	559	559	559	△ 8	医師確保に要する経費、学生教育のための講師に要する経費等の減少による。
	実績	572	565	558	554				△ 4	
補助金	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0				0	
長期前受金戻入	計画			32	36	36	38	28	△ 1	
	実績	20	17	32	35				3	
その他医業外収益	計画			35	39	5	16	16	△ 5	県の委託料単価の削減に伴う精神科救急拠点病院業務委託料等の減少による。
	実績	38	37	33	34				1	
特別利益	計画			0	0	0	0	0	5	医師公舎売却に係る売却益があったため。
	実績	1	0	0	5				5	

収支計画の達成状況

〔H29計画差〕はH29計画額とH29実績額の差、
 〔H29前年度差〕はH28実績額とH29実績額の差を表す。

丸亀病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	計画差の要因、取組み等
									H29前年度差	
費用計 (B)	計画			1,820	1,831	1,837	1,863	1,858	△ 68	
	実績	1,865	1,791	1,787	1,763				△ 24	
医業費用 (B1)	計画			1,775	1,785	1,795	1,816	1,806	△ 59	
	実績	1,757	1,753	1,749	1,726				△ 23	
給与費	計画			1,034	1,059	1,064	1,083	1,087	△ 9	
	実績	990	1,054	1,048	1,050				2	
退職給付費	計画			81	114	73	91	95	△ 24	
	実績	68	100	104	90				△ 14	
退職給付費以外	計画			953	945	991	992	992	15	嘱託医師1名の正規化により、初任給調整手当等が増加した。 その他、期末勤勉手当や地域手当の増による。
	実績	922	954	944	960				16	
材料費	計画			192	192	218	208	208	△ 2	
	実績	192	197	185	190				5	
薬品費	計画			183	183	208	197	197	△ 2	
	実績	183	189	178	181				3	
診療材料費	計画			6	6	8	9	9	1	経年劣化により機能の落ちた防水シーツの更新などがあり、購入量が増加したため。
	実績	6	6	5	7				2	
経費	計画			437	420	407	422	422	△ 42	燃料費の減(新型ボイラー導入による燃費向上)、修繕費の減、 光熱水費の減(水道使用量の減による)
	実績	427	391	405	378				△ 27	
減価償却費	計画			107	110	99	99	85	△ 5	
	実績	82	103	105	105				0	
その他医業費用	計画			5	4	7	4	4	△ 1	
	実績	66	8	6	3				△ 3	
医業外費用 (B2)	計画			44	45	41	46	51	△ 9	その他雑損失の減による。
	実績	46	37	38	36				△ 2	
特別損失	計画			1	1	1	1	1	0	
	実績	62	1	0	1				1	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 760	△ 768	△ 706	△ 720	△ 703	△ 22	収益の減による。
	実績	△ 768	△ 777	△ 777	△ 790				△ 13	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 176	△ 176	△ 147	△ 153	△ 151	△ 27	
	実績	△ 184	△ 195	△ 192	△ 203				△ 11	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 177	△ 177	△ 148	△ 154	△ 152	△ 22	
	実績	△ 245	△ 196	△ 192	△ 199				△ 7	

収支計画の達成状況

(「H29計画差」はH29計画額とH29実績額の差、
「H29前年度差」はH28実績額とH29実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差		計画差の要因、取組み等
									H29前年度差		
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			77	76	65	63	60		△ 5	
	実績	64	91	76	71					△ 5	
②資本的収支											
収入計 (C)	計画			80	97	50	113	47		△ 12	
	実績	169	43	73	85					12	
企業債	計画			51	66	17	79	24		△ 14	建設改良費の減に伴い、借り入れが少なかった。
	実績	153	33	44	52					8	
長期借入金	計画			7	6	6	5	5		0	
	実績	5	3	7	6					△ 1	
一般会計繰入金	計画			22	25	26	28	18		0	
	実績	10	7	22	25					3	
負担金	計画			22	24	26	28	18		1	
	実績	8	7	21	25					4	
補助金	計画			0	1	0	0	0		△ 1	
	実績	2	0	1	0					△ 1	
その他	計画			0	0	1	1	0		2	
	実績	1	0	0	2					2	
支出計 (D)	計画			104	123	78	143	68		△ 13	
	実績	177	52	97	110					13	
建設改良費	計画			61	75	26	88	33		△ 14	施設設備の老朽化に伴う改修について、屋上防水改修工事に替えて、入院病棟(B棟)の空調設備を改修した。
	実績	162	39	54	61					7	
企業債償還金	計画			40	45	48	50	29		1	
	実績	12	10	40	46					6	
その他	計画			3	3	4	5	6		0	
	実績	3	3	3	3					0	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 24	△ 26	△ 28	△ 30	△ 21		1	
	実績	△ 8	△ 9	△ 24	△ 25					△ 1	
③単年度資金収支											
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			△ 124	△ 127	△ 111	△ 121	△ 113		△ 26	
	実績	△ 189	△ 114	△ 140	△ 153					△ 13	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
1. 良質な医療サービスの提供														
①医療機能の充実														
3	救急患者の受入れ数	人	計画			150	150	156	156	156	△ 42	B	E	警察車両による搬送の減(26⇒7)。時間外受診者数の減。
			実績	149	144	150	108			△ 42				
4	デイケア患者数	人	計画			7,500	7,550	7,550	7,600	7,600	△ 976	E	C	登録患者数の伸び悩みによる。入院中から退院後のデイケア参加を呼びかけ、新規登録者の確保に努めており、対前年度では増加している。
			実績	7,218	7,547	6,027	6,574			547				
5	訪問看護患者数	人	計画			1,050	1,050	1,100	1,100	1,100	△ 25	C	E	精神障害者の地域社会での生活維持のため、積極的に訪問看護を行っている。
			実績	1,053	1,002	1,030	1,025			△ 5				
②医療の安全と質の向上														
9	インシデント報告件数	件	計画			400	400	420	440	450	△ 24	C	E	骨折や転倒・転落など、重大なアクシデントは減少し、レベル0の報告件数が増えた。今後も0レベルでの件数が増えるよう努める。
			実績	546	360	388	376			△ 12				
10	クリニカルパス適用率	%	計画			96.0	97.0	98.0	98.0	98.0	△ 8.0	E	E	身体合併症などで転院していた患者が再入院した場合は、パスの適応外となるため。パスの活用は定着しており、今後も推進していく。
			実績	94.5	99.3	89.2	89.0			△ 0.2				
③患者サービスの向上														
13	外来待ち時間の短縮 (受付時間～診療開始)	分	計画			15	15	15	15	15	0.5	A	D	医師により診察時間に差があるためと、症状が悪化した患者の診察に時間を要したため。
			実績	19.2	15.1	12.8	15.5			2.7				
④地域医療への貢献														
14	患者紹介率	%	計画			13.7	13.9	14.0	14.0	14.0	3.0	A	A	地域の医療機関からの紹介患者や、救急患者を積極的に受け入れる。
			実績	13.3	15.6	15.1	16.9			1.8				
15	患者逆紹介率	%	計画			22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	△ 3.4	A	E	外来患者の自院治療患者増による、診療情報提供料Iの算定件数の減。
			実績	21.2	26.3	23.7	18.9			△ 4.8				
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			60	63	65	68	70	4	B	B	相談や問い合わせのあった医療機関からの患者を積極的に受け入れる。
			実績	69	68	61	67			6				
17	公開講座等開催回数	回	計画			1	1	1	2	2	0	B	B	平成29年10月13日に「すこやかな老いをめざして～認知症とその予防～」をテーマに院長が講演を行った。
			実績	1	1	1	1			0				

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未満を更に読み替える。

丸亀病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
2. 医療人材の確保・育成														
②医療スタッフの確保・育成														
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			290	290	290	290	290	15	A	A	計画通り、看護学校等から学生の実習を受け入れた。引き続き学生実習に協力していく。
			実績	284	290	296	305			9				
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			13	15	15	15	15	△ 4	A	D	29年度は栄養士など3職種の実習を受け入れた。引き続き学生実習に協力していく。
			実績	8	15	19	11			△ 8				
3. 災害等への対応力の強化														
①大規模災害への対応力の強化														
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			11	11	11	11	11	0	A	A	計画通り、基本的に毎月1回訓練を実施した。30年度も同様に様々な状況設定で訓練を実施する。
			実績	11	11	11	11			0				
4. 安定的な病院経営の確立														
②収益の確保														
29	稼働病床利用率	%	計画			74.4	74.4	75.0	75.6	75.6	△ 6.6	C	E	入院患者数が減少し対前年マイナスとなり、計画値に達しなかった。
			実績	72.9	70.0	71.7	67.8			△ 3.9				
30	入院単価	円	計画			15,550	15,549	15,870	15,900	16,120	△ 13	B	D	概ね計画値ではあるが、急性期治療病棟入院料算定患者の減(△1,014人)により、前年を下回っている。
			実績	15,467	15,564	15,796	15,536			△ 260				
31	外来単価	円	計画			9,950	9,993	10,315	10,315	10,315	120	B	B	精神科外来患者に対する長期効用のある高額な注射処方が増加しているため。
			実績	9,856	10,312	10,006	10,113			107				
32	1日平均入院患者数	人	計画			116	116	117	118	118	△ 12	C	E	入院患者数が減少し対前年マイナスとなり、計画値に達しなかった。
			実績	114	109	112	104			△ 8				
33	1日平均外来患者数	人	計画			136	136	143	143	144	△ 8	E	C	デイ・ケア利用者の増により前年より増加したが、計画値には達しなかった。
			実績	133	130	123	128			5				
34	新入院患者数	人	計画			186	192	192	192	192	△ 25	D	C	前年と同数、引き続き急性期患者を中心に積極的に入院患者を受け入れる。
			実績	164	172	167	167			0				
35	新外来患者数	人	計画			618	624	624	624	624	△ 113	E	E	引き続き電話による初診予約を積極的に受け入れ、新規患者の確保に努める。
			実績	843	611	537	511			△ 26				
37	平均在院日数	日	計画			228.6	221.5	222.4	222.1	221.5	8.0	D	C	入院患者数は少ないが、新入院患者も計画より大幅に少なかったため、計画値より長くなった。
			実績	253.2	227.2	243.0	229.5			△ 13.5				

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

丸亀病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
③費用の適正化														
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画			33.0	32.0	32.0	34.0	35.0	4.1	A	A	今後も引き続き後発品の採用に努める。
			実績	31.5	36.2	35.6	36.1			0.5				
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画			93.9	92.9	92.9	92.9	92.7	9.6	C	E	退職給付費を除く給与費と医薬収益ともに計画値を満たさなかったため。
			実績	93.2	97.7	97.1	102.5			5.4				
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画			101.9	104.1	106.3	106.4	103.4	8.0	C	E	退職給付費は計画値を下回ったが、退職給付費を除く給与費と医薬収益が計画値を満たさなかったため。
			実績	100.1	108.0	107.8	112.1			4.3				
41	経常収支比率	%	計画			90.3	90.4	89.3	89.2	90.8	△ 1.9	C	E	経常費用は計画値を下回ったものの、経常収益が計画値に達しなかったため。
			実績	89.8	89.1	89.3	88.5			△ 0.8				
42	医薬収支比率	%	計画			57.2	57.0	56.4	56.4	58.0	△ 2.7	E	E	医薬費用は計画値を下回ったものの、医薬収益が計画値に達しなかったため。
			実績	56.3	55.7	55.6	54.3			△ 1.3				
43	材料費対医薬収益比率	%	計画			18.9	18.9	18.8	18.8	18.7	1.4	C	E	材料費、医薬収益ともに計画値を下回ったものの、医薬収益の下がり幅が大きかったため。
			実績	19.4	20.2	19.0	20.3			1.3				
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画			18.0	18.0	17.9	17.9	17.9	1.3	C	E	薬品費、医薬収益ともに計画値を下回ったものの、医薬収益の下がり幅が大きかったため。
			実績	18.5	19.4	18.3	19.3			1.0				
45	うち 診療材料費医薬収益比率	%	計画			0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.1	A	E	診療材料費が計画値を上回ったため。
			実績	0.6	0.6	0.5	0.7			0.2				

中期実施計画の主な取組み

白鳥病院

区分	平成29年度の主な取組み	平成30年度の主な取組み予定
1. 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 ・ 泌尿器科の開設による地域の医療需要への対応 ・ 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供(化学療法件数 612件) ・ 地域包括ケア病床の開設 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K-MIXによる地域全体の診療の質の向上 ・ 五名地区でのへき地医療の継続 ・ 市民公開講座等の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 ・ 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 ・ 地域包括ケア病床の積極的な運用 ・ 泌尿器科の機器整備による手術需要への対応 <p>②医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 <p>③患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>④地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K-MIXによる地域全体の診療の質の向上 ・ 五名地区でのへき地医療の継続 ・ 市民公開講座等の開催
2. 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 ・ 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習、ふれあい看護体験、シャドーイング体験会の実施 ・ ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 ・ 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習、ふれあい看護体験、シャドーイング体験会の実施 ・ ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>③勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減
3. 災害等への対応力の強化	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務継続計画(BCP)の院内周知及びそれに基づく発動機始動訓練の実施 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ対応マニュアル改定、シミュレーション ・ さぬき市民病院、太田病院と感染対策合同カンファレンスを実施 	<p>①大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務継続計画(BCP)の院内周知及びそれに基づく発動機始動訓練の実施 <p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HIV対応マニュアルの作成 ・ さぬき市民病院、太田病院と感染対策合同カンファレンスを実施
4. 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営委員会(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泌尿器科の開設による地域の医療需要への対応(再掲) ・ 地域包括ケア病床の開設による病床稼働率の向上 ・ 人間ドックオプション検査の積極的な広報 ・ 新たな施設基準取得(ニコチン依存症管理料、認知症ケア加算) <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営委員会(1回/月)における経営情報の共有 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 ・ 人間ドックオプション検査の積極的な広報 ・ 新たな施設基準取得(医療安全対策地域連携加算2、感染防止対策地域連携加算) ・ 泌尿器科の機器整備による手術需要への対応(再掲) <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減

収支計画の達成状況

〔H28計画差〕はH28計画額とH28実績額の差、
〔H28前年度差〕はH27実績額とH28実績額の差を表す。

白鳥病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画			2,867	2,932	3,145	3,172	3,207	△ 101	
	実績	2,878	2,776	2,723	2,831				108	
医業収益 (A1)	計画			2,592	2,629	2,777	2,800	2,837	△ 115	
	実績	2,531	2,461	2,416	2,514				98	
入院収益	計画			1,606	1,640	1,663	1,686	1,723	△ 74	地域包括ケア病床開設等により、1日平均患者数は計画を上回ったものの、手術件数の減少等により診療単価が計画値を3,046円下回った。
	実績	1,601	1,487	1,472	1,566				94	
外来収益	計画			861	864	978	978	978	△ 43	化学療法の実施件数増等により診療単価は計画を上回ったものの、内科医の減少等により1日平均患者数が計画を31人下回った。
	実績	805	847	819	821				2	
その他医業収益	計画			125	125	136	136	136	2	
	実績	125	127	125	127				2	
一般会計負担金	計画			50	50	60	60	60	1	
	実績	50	52	51	51				0	
その他	計画			75	75	76	76	76	1	
	実績	75	75	74	76				2	
医業外収益 (A2)	計画			275	303	368	368	361	3	
	実績	345	312	301	306				5	
一般会計繰入金	計画			183	183	209	209	208	5	
	実績	205	217	204	188				△ 16	
負担金	計画			183	183	209	209	208	5	
	実績	205	217	204	188				△ 16	
補助金	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0				0	
長期前受金戻入	計画			72	92	135	130	125	△ 4	
	実績	108	65	73	88				15	
その他医業外収益	計画			20	28	24	29	28	2	
	実績	32	30	24	30				6	
特別利益	計画			0	0	0	4	9	11	レセプトの返戻の再請求による。
	実績	2	3	6	11				5	

収支計画の達成状況

〔H28計画差〕はH28計画額とH28実績額の差、
〔H28前年度差〕はH27実績額とH28実績額の差を表す。）

白鳥病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
費用計 (B)	計画			2,937	3,038	3,342	3,263	3,267	64	
	実績	3,069	2,965	2,980	3,102				122	
医業費用 (B1)	計画			2,797	2,900	3,185	3,113	3,109	55	
	実績	2,824	2,827	2,840	2,955				115	
給与費	計画			1,415	1,482	1,508	1,536	1,542	△ 37	
	実績	1,394	1,404	1,479	1,445				△ 34	
退職給付費	計画			107	151	109	137	143	△ 29	
	実績	89	130	123	122				△ 1	
退職給付費以外	計画			1,308	1,331	1,399	1,399	1,399	△ 8	定数内医師の減少により、給料、手当及び法定福利費が減少した。
	実績	1,305	1,274	1,356	1,323				△ 33	
材料費	計画			581	622	788	718	718	6	
	実績	606	600	604	628				24	
薬品費	計画			213	213	359	298	298	52	効果的な化学療法の実施に伴い、高額な抗がん剤の使用量が増加したため。
	実績	213	243	232	265				33	
診療材料費	計画			365	406	425	417	417	△ 46	内科医の減に伴い、心カテ等の高額な資料材料を使用する手術が減少した。
	実績	390	354	368	360				△ 8	
経費	計画			550	533	599	583	583	72	嘱託医師の増加や香大からの麻酔医派遣等により報酬が増加したほか、入院患者増に伴い給食委託料が増加した。
	実績	525	547	515	605				90	
減価償却費	計画			217	244	266	259	249	12	病院情報システムの減価償却が開始したため、前年度より大幅に増加した。
	実績	282	254	210	256				46	
その他医業費用	計画			34	19	24	17	17	2	
	実績	17	22	32	21				△ 11	
医業外費用 (B2)	計画			131	129	147	141	149	7	
	実績	143	135	134	136				2	
特別損失	計画			9	9	10	9	9	2	レセプトの査定・返戻による。
	実績	102	3	6	11				5	
医業収支 (A1-B1)	計画			△ 205	△ 271	△ 408	△ 313	△ 272	△ 170	
	実績	△ 293	△ 366	△ 424	△ 441				△ 17	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画			△ 61	△ 97	△ 187	△ 86	△ 60	△ 174	
	実績	△ 91	△ 189	△ 257	△ 271				△ 14	
総収支 (X=A-B)	計画			△ 70	△ 106	△ 197	△ 91	△ 60	△ 165	
	実績	△ 191	△ 189	△ 257	△ 271				△ 14	

収支計画の達成状況

(「H28計画差」はH28計画額とH28実績額の差、
「H28前年度差」はH27実績額とH28実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

以降、見直し後計画

項目	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H28計画差	計画差の要因、取組み等
									H28前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画			172	164	144	136	126	17	病院情報システムの減価償却が増加したことにより、現金支出を伴わない費用が増加した。
	実績	211	207	169	181				12	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画			484	232	186	188	174	△ 72	
	実績	150	166	482	160				△ 322	
企業債	計画			411	139	45	44	28	△ 79	建設改良費の減に伴い、借り入れが少なかった。
	実績	39	100	410	60				△ 350	
長期借入金	計画			8	12	13	12	12	4	
	実績	11	11	7	16				9	
一般会計繰入金	計画			65	81	128	132	133	0	
	実績	99	55	65	81				16	
負担金	計画			65	81	128	132	133	0	
	実績	99	55	65	81				16	
補助金	計画			0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0				0	
その他	計画			0	0	0	0	0	3	地域包括ケア病床整備にあたり、病床転換に係る補助金を活用した。
	実績	1	0	0	3				3	
支出計 (D)	計画			552	315	316	321	308	△ 72	
	実績	252	225	551	243				△ 308	
建設改良費	計画			420	152	59	57	41	△ 72	更新を見込んでいたCTは保守延長により更新時期を遅らせ、泌尿器科内視鏡システム等を整備した。
	実績	51	111	419	80				△ 339	
企業債償還金	計画			122	153	246	252	254	0	
	実績	182	96	122	153				31	
その他	計画			10	10	11	12	13	0	
	実績	19	18	10	10				0	
収支差し引き (Z=C-D)	計画			△ 68	△ 83	△ 130	△ 133	△ 134	0	
	実績	△ 102	△ 59	△ 69	△ 83				△ 14	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画			34	△ 25	△ 183	△ 88	△ 68	△ 148	
	実績	△ 82	△ 41	△ 157	△ 173				△ 16	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

白鳥病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
1. 良質な医療サービスの提供														
①医療機能の充実														
1	救急車受入(搬入)患者数	人	計画			935	940	945	945	950	△ 145	E	E	内科医の減少に伴い、内科を中心に受入患者数が減少した。当院への搬送は可能な限り受け入れているほか、救急車を呼ぶべき場合について記載したチラシを患者に配布するなどの取り組みを行っている。
			実績	914	940	834	795			△ 39				
2	高額手術件数(6,000点以上)	件	計画			980	1,010	1,040	1,070	1,100	△ 89	E	E	心カテ等内科の高額手術が減少した。 (内科高額手術件数 187件(前年度△75件)) (心カテ手術 136件(前年度△48件))
			実績	1,037	993	966	921			△ 45				
5	訪問看護患者数	人	計画			600	600	600	600	600	△ 304	A	E	継続的に利用している患者が入院する例や死亡する例が多かった。また、地域包括ケア病床の開設に伴い、退院前調整等のための訪問に注力した。
			実績	441	567	610	296			△ 314				
6	訪問診療患者数	人	計画			265	266	267	268	270	9	A	A	利用者の入院、死亡により対象者が減少した。
			実績	271	254	365	275			△ 90				
②医療の安全と質の向上														
9	インシデント報告件数	件	計画			440	460	490	520	550	△ 107	E	C	医療安全推進委員会における周知等により、レベル1以下の報告数は前年度から増加したが、レベル2以上のアクシデントの発生自体が減少した。
			実績	468	377	318	353			35				
10	クリニカルパス適用率	%	計画			46	46	46	46	46	△ 5.5	D	E	インフルエンザ後の肺炎や心不全などのパスを適用できないケースが多かった。
			実績	41	46	41.2	40.5			△ 0.7				
③患者サービスの向上														
13	外来待ち時間の短縮 (予約時間始期～診療開始)	分	計画	-		48.0	46.0	44.0	42.0	40.0	△ 8.4	A	A	患者サービス向上委員会において待ち時間対策について検討し、待ち時間が長い医師に注意喚起を行った。
			実績		50.0	38.0	37.6			△ 0.4				
④地域医療への貢献														
14	患者紹介率	%	計画			22.0	22.3	22.6	22.8	23.0	3.3	C	A	初診患者数減少及び紹介状持参患者数の増加。 (分母)初診患者数H28:9507件 H29:8818件 (分子)紹介状持参数H28:1243件 H29:1464件、 救急車搬送患者数H28:834件 H29:795件
			実績	22.4	21.6	21.8	25.6			3.8				
15	患者逆紹介率	%	計画			14.0	14.8	15.6	16.4	17.3	△ 0.7	B	E	初診患者数、紹介状持参患者数ともに減少。 初診患者数H28:9507件 H29:8818件 紹介状持参数H28:1441件 H29:1239件
			実績	14.3	13.5	15.2	14.1			△ 1.1				
16	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画			225	230	235	240	245	△ 4	A	E	1度のみの紹介医療機関数が減少した。 H28:218件 H29:154件
			実績	232	218	260	226			△ 34				
17	公開講座等開催回数	回	計画			16	16	16	16	16	△ 2	C	D	東かがわ市、大川地区医師会と共同開催により、生活習慣病や身近な病気について解説する市民公開講座などを実施している。
			実績	13	14	15	14			△ 1				

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
2. 医療人材の確保・育成														
②医療スタッフの確保・育成														
21	実習生受入人数(看護師)	人	計画			43	43	44	45	46	11	A	A	新たに藤井学園寒川高等学校看護科の実習を受け入れることとしたため増加した。
			実績	46	43	46	54		8					
22	実習生受入人数(その他)	人	計画			14	14	14	14	14	△ 4	A	E	地域包括ケア病床の開設に伴う負担増のため、実習受入人数を減らしたため。
			実績	11	14	14	10		△ 4					
3. 災害等への対応力の強化														
①大規模災害への対応力の強化														
25	防災訓練回数(法定分を除く。)	回	計画			3	4	4	4	4	△ 2	D	C	看護部各所属において、災害シミュレーション・机上訓練等を行ったほか、東讃保健福祉事務所主催の大規模災害時避難運営訓練に参加した。
			実績	1	3	2	2		0					
4. 安定的な病院経営の確立														
②収益の確保														
29	稼働病床利用率	%	計画			62.5	65.0	70.3	71.0	72.3	4.0	E	B	地域包括ケア病床の開設等により、延患者数が増加した。
			実績	66.1	61.4	61.2	69.0		7.8					
30	入院単価	円	計画			44,453	44,502	43,183	43,250	43,500	△ 3,046	A	E	平均在院日数の増(H29:15.5日 H30:18.0日) 手術件数の減(H28:1,654 H29:1,567)
			実績	44,254	44,089	43,921	41,456		△ 2,465					
31	外来単価	円	計画			7,873	7,873	8,548	8,548	8,548	154	B	B	高額腫瘍用薬の使用量増に伴い外科注射料が増加した。
			実績	7,346	8,039	7,934	8,027		93					
32	1日平均入院患者数	人	計画			99	101	106	107	109	2	E	B	外科医の増及び地域包括ケア病床の開設により患者数が増加した。
			実績	99	92	92	103		11					
33	1日平均外来患者数	人	計画			450	450	469	469	471	△ 31	E	E	医師数が内科で1名減少したほか、整形外科の医師が3月退職に合わせ3月半ばから不在となったこと等が影響した。
			実績	449	434	425	419		△ 6					
34	新入院患者数	人	計画			2,168	2,200	2,143	2,264	2,300	△ 95	E	E	医師数が内科で1名減少した。 (内科新入院患者数 H28:1,292人 H29:1,094人 △198人)
			実績	2,244	2,178	2,151	2,105		△ 46					
35	新外来患者数	人	計画			11,460	11,570	11,680	11,790	11,900	△ 1,066	E	E	医師数が内科で1名減少したほか、整形外科の医師が3月退職に合わせ3月半ばから不在となったこと等が影響した。
			実績	11,678	11,488	11,048	10,504		△ 544					
37	平均在院日数	日	計画			15.4	15.3	18.0	18.0	18.0	2.7	A	A	地域包括ケア病床の患者や、その待ち患者等の在院日数の長い患者が増えた。
			実績	16.0	15.5	15.5	18.0		2.5					

中期指標の達成状況

(評価基準)

A H32計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D H26実績以上
E H26実績未満

白鳥病院

以降、見直し後計画 (太枠: 目標指標)

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

No.	項目	単位	区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H29計画差	評価 H28	評価 H29	計画差の要因、取組み等
											H29前年度差			
③費用の適正化														
38	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画			68.0	70.0	73.0	77.0	80.0	7.9	B	B	H32目標値に向け、新規にシプロフロキサシン錠やテルミサルタン錠などの後発医薬品を採用するなど、可能な範囲で後発医薬品を使用するようにしている。
			実績	63.6	68.9	74.0	77.9			3.9				
39	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画			50.5	50.6	50.4	50.0	49.3	2.0	E	C	人件費は計画値より低くなったものの、医師の減少等により医薬収益が計画値を満たさなかったため。
			実績	51.6	51.8	56.1	52.6			△ 3.5				
40	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画			54.6	56.4	54.3	54.9	54.4	1.1	E	C	人件費は計画値より低くなったものの、医師の減少等により医薬収益が計画値を満たさなかったため。
			実績	55.1	57.0	61.2	57.5			△ 3.7				
41	経常収支比率	%	計画			97.9	96.8	94.4	97.3	98.1	△ 5.6	E	E	経常収益が計画値を満たさなかったほか、経費・減価償却費などの増加により経常費用も計画値を満たさなかったため。
			実績	96.9	93.6	91.4	91.2			△ 0.2				
42	医薬収支比率	%	計画			92.7	90.7	87.2	89.9	91.2	△ 5.6	E	C	医薬収益が計画値を満たさなかったほか、経費・減価償却費などの増加により医薬費用も計画値を満たさなかったため。
			実績	89.6	87.1	85.1	85.1			0.0				
43	材料費対医薬収益比率	%	計画			22.4	23.7	28.4	25.6	25.3	1.3	A	A	材料費はほぼ計画値の水準だったが、医薬収益が計画値を満たさなかったため。
			実績	23.9	24.4	25.0	25.0			0.0				
44	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画			8.2	8.1	12.9	10.6	10.5	2.4	A	A	医薬収益が計画値を満たさなかったほか、高額な抗がん剤の使用量増加により薬品費が計画値を上回ったため。
			実績	8.4	9.9	9.6	10.5			0.9				
45	うち 診療材料費医薬収益比率	%	計画			15.4	15.4	15.3	14.9	14.7	△ 1.1	B	A	医薬収益は計画値を満たさなかったものの、心カテ等の高額な診療材料を使用する手術が減少し、診療材料費が計画値を大きく下回ったため。
			実績	15.4	14.4	15.2	14.3			△ 0.9				

第3次県立病院中期実施計画

平成28年3月

(改定 平成30年3月30日)

香川県病院局

改定履歴

版	主な改定内容
初版 平成 28 年 3 月	—
改定 平成 30 年 3 月 30 日	<p>平成 28 年度決算を受け、策定時と大きく状況が変化していることが判明したため、平成 30 年度以降の財政収支計画数値を見直し、今後の事業運営に反映できるよう改定する。</p> <p>見直し対象期間 平成 30 年度から平成 32 年度まで 見直し概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高度急性期医療への特化等により増大する薬品費や診療材料費と見合いの収益を算入した。 2 人員不足により遅れている病床の稼働について、増員及び収益を反映した。 3 平成 28 年度決算、平成 29 年度補正予算及び平成 30 年度当初予算を踏まえ、将来への影響額を反映した。 4 中期指標「④安定的な病院経営の確立」のうち、財政収支計画の見直しの影響がある項目について数値を見直した。

目 次

I	策定趣旨等	1
II	計画期間	1
III	事業計画	2
1	病院局計	2
	（1）中期財政収支計画	2
	（2）中期指標	3
2	中央病院	4
	（1）中期財政収支計画	4
	（2）中期指標	5
3	丸亀病院	7
	（1）中期財政収支計画	7
	（2）中期指標	8
4	白鳥病院	9
	（1）中期財政収支計画	9
	（2）中期指標	10

I 策定趣旨等

県立病院の経営は、国において検討が進められている医療制度改革の影響や、平成26年3月に新築・移転した中央病院に係る減価償却や企業債償還の影響などにより、今後、厳しい状況が続くことが見込まれています。このため、県立病院の経営が常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進し、安定した経営の下で良質な医療を継続して提供できるよう、「第3次県立病院中期経営目標」（以下、「第3次中期経営目標」という。）を策定しました。

そこで、第3次中期経営目標の目標期間中の財政収支計画や、第3次中期経営目標における様々な取組みにより達成を目指すべき目標の指標を「第3次県立病院中期実施計画」（以下、「第3次中期実施計画」という。）として定めることとしました。

この第3次中期実施計画は、各年度決算の収支実績や目標指標の進捗状況等を踏まえ、適宜見直しを行うこととしています。

なお、第3次中期実施計画は、病院事業管理者と各病院長との合意計画の性格を有するとともに、「第3次中期経営目標」とあわせて、平成27年3月に国が策定した新たな公立病院改革ガイドライン（平成27年3月31日付け総財準第59号総務省自治財政局長通知）における「新公立病院改革プラン」とします。

II 計画期間

平成28年度から32年度までの5年間とします。

Ⅲ 事業計画

1 病院局計

(1) 中期財政収支計画

① 収益的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
病院事業収益計(A)	23,044	24,141	24,111	24,523	26,425	26,551	26,907
計(A1)	19,752	20,191	20,346	20,572	22,386	22,906	23,434
医業収益							
入院収益	13,216	13,239	13,616	13,998	14,587	15,066	15,581
外来収益	5,483	5,860	5,488	5,522	6,576	6,576	6,576
その他医業収益	1,053	1,092	1,242	1,052	1,223	1,264	1,277
一般会計負担金	289	349	486	289	483	483	483
その他	764	743	756	763	740	781	794
計(A2)	3,220	3,615	3,594	3,951	4,039	3,641	3,464
医業外収益							
一般会計繰入金	2,127	2,091	2,035	2,232	2,320	2,297	2,141
負担金	2,124	2,089	2,033	2,230	2,317	2,294	2,138
補助金	3	2	2	2	3	3	3
長期前受金戻入	562	1,002	1,036	1,149	1,199	796	776
その他医業外収益	531	522	523	570	520	548	547
特別利益	72	335	171	0	0	4	9
病院事業費用計(B)	25,074	26,035	25,396	25,772	27,546	27,509	27,269
計(B1)	23,109	24,078	24,290	24,673	26,318	26,198	25,867
給与費	10,901	11,269	11,485	11,942	12,175	12,407	12,458
退職給付費	778	1,135	896	1,263	909	1,140	1,191
退職給付費以外	10,123	10,134	10,589	10,679	11,266	11,267	11,267
材料費	5,649	5,962	5,665	5,763	6,896	6,827	6,827
薬品費	2,892	3,103	2,892	2,892	3,664	3,586	3,586
診療材料費	2,699	2,816	2,717	2,813	3,192	3,185	3,185
経費	4,063	4,430	4,742	4,533	4,747	4,666	4,665
減価償却費	2,178	2,219	2,187	2,227	2,287	2,081	1,635
その他医業費用	318	198	211	208	213	217	282
医業外費用 計(B2)	981	986	947	940	1,066	1,151	1,242
特別損失	984	971	159	159	162	160	160
医業収支 (X1=A1-B1)	△ 3,357	△ 3,887	△ 3,944	△ 4,101	△ 3,932	△ 3,292	△ 2,433
経常収支 (X2=X1+A2-B2)	△ 1,118	△ 1,258	△ 1,297	△ 1,090	△ 959	△ 802	△ 211
総収支 (X=A-B)	△ 2,030	△ 1,894	△ 1,285	△ 1,249	△ 1,121	△ 958	△ 362

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
損益勘定留保資金(Y)	2,045	2,136	1,268	1,190	1,186	1,384	1,018

* 現金の支出を必要としない費用の合計額から現金の収入とならない長期前受金戻入額を差し引いた額(引当金を除く。)

② 資本的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
資本的収入 計(C)	1,041	1,774	2,271	1,315	1,474	1,192	2,604
企業債	695	366	872	424	490	585	1,852
長期借入金	53	61	79	112	94	103	114
一般会計繰入金	270	707	745	779	889	503	637
負担金	268	707	745	778	880	493	621
補助金	2	0	0	1	9	10	16
その他	23	640	575	0	1	1	1
資本的支出 計(D)	1,364	2,029	2,836	2,144	2,394	1,723	3,256
建設改良費	823	606	1,339	576	624	730	2,009
企業債償還金	471	1,360	1,447	1,514	1,711	910	1,160
その他	70	63	50	54	59	83	87
収支差し引き(Z=C-D)	△ 323	△ 255	△ 565	△ 829	△ 920	△ 531	△ 652

③ 単年度資金収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
単年度資金収支(X+Y+Z)	△ 308	△ 13	△ 582	△ 888	△ 855	△ 105	4

(2) 中期指標

項目			H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画		
① 良質な医療サービスの提供											
医療の安全と質の向上	認定看護師数	(人)	19	21	21	23	25	27	29		
	医療安全研修受講率	(%)	46.0	61.8	65.0	75.0	85.0	95.0	100.0		
患者サービスの向上	患者満足度調査による満足度	(%)	入院 87.0 外来 87.0	入院 86.0 外来 84.0	入院 87.0 外来 85.5	入院 88.0 外来 87.0	入院 89.0 外来 88.5	入院 89.5 外来 89.5	入院 90.0 外来 90.0		
② 医療人材の確保・育成											
医師の確保・育成	医師充足率	(%)	87.6	91.9	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0		
医療スタッフの確保・育成	新卒看護師の離職率	(%)	14.1	19.6	14.0	12.5	11.0	9.5	8.5		
勤務環境等の改善・充実	新卒看護師の離職率(再掲)	(%)	14.1	19.6	14.0	12.5	11.0	9.5	8.5		
③ 災害等への対応力の強化											
大規模災害への対応力の強化	業務継続計画(BCP)策定病院数	(箇所)	1	1	3	3	3	3	3		
④ 安定的な病院経営の確立											
経営力の強化	経営会議・経営評価委員会の開催		経営会議は12回、 評価委員会は1回開催		経営会議は10回、 評価委員会は1回開催		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	職員提案からの実現件数(累計)	(件)	86 [※H24~27の累計]		106	20	40	60	80	100	
費用の適正化	人件費比率[対医業収益比率] (退職給付費を除く)	(%)	51.3	50.2	52.0	51.9	50.3	49.2	48.1		
	人件費比率 [対医業収益比率]	(%)	55.2	55.8	56.4	58.0	54.4	54.2	53.2		
	経常収支比率	(%)	95.4	95.0	94.9	95.7	96.5	97.1	99.2		
	医業収支比率	(%)	85.5	83.9	83.8	83.4	85.1	87.4	90.6		
	材料費対 医業収益比率	(%)	28.6	29.5	27.8	28.0	30.8	29.8	29.1		
	うち薬品費対 医業収益比率	(%)	14.6	15.4	14.2	14.1	16.4	15.7	15.3		
	うち診療材料費 対医業収益比率	(%)	13.7	13.9	13.4	13.7	14.3	13.9	13.6		
資金収支の改善	単年度資金収支	(百万円)	△ 308	△ 13	△ 582	△ 888	△ 855	△ 105	4 (黒字化)		

注 経常収支比率について

「新公立病院改革ガイドライン」(平成27年3月31日付け総務省自治財政局長通知)で求められる、新改革プラン対象期間中の経常収支比率を100%以上とする数値目標の設定については、(1)一つの経営体が複数の病院を一体的に運営している場合には複数の病院を合わせて目標設定することや、(2)平成26年度から適用された新会計基準による過去分の退職給付引当金を除いて達成することが認められている。

このため、香川県立病院局においては、(1)病院局全体での目標設定とし、(2)新会計基準による過去分の退職給付引当金(平成26年度から15年、毎年425百万円)を控除することにより、新公立病院改革ガイドラインに適合する(H32計画の経常収支比率100.8%)ものとする。

2 中央病院

(1) 中期財政収支計画

① 収益的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
病院事業収益計(A)	18,546	19,770	19,601	19,937	21,591	21,670	21,994
計(A1)	16,232	16,754	16,739	16,926	18,520	19,010	19,494
医業収益							
入院収益	10,973	11,129	11,352	11,700	12,246	12,693	13,164
外来収益	4,358	4,688	4,298	4,326	5,238	5,238	5,238
その他医業収益	901	937	1,089	900	1,036	1,079	1,092
一般会計負担金	223	281	419	223	401	401	401
その他	678	656	670	677	635	678	691
計(A2)	2,245	2,684	2,691	3,011	3,071	2,660	2,500
医業外収益							
一般会計繰入金	1,350	1,309	1,291	1,487	1,552	1,529	1,374
負担金	1,347	1,307	1,289	1,485	1,549	1,526	1,371
補助金	3	2	2	2	3	3	3
長期前受金戻入	434	920	932	1,021	1,028	628	623
その他医業外収益	461	455	468	503	491	503	503
特別利益	69	332	171	0	0	0	0
病院事業費用計(B)	20,096	21,279	20,639	20,903	22,367	22,383	22,144
計(B1)	18,528	19,498	19,718	19,988	21,338	21,269	20,952
医業費用							
給与費	8,517	8,811	9,036	9,401	9,603	9,788	9,829
退職給付費	621	905	708	998	727	912	953
退職給付費以外	7,896	7,906	8,328	8,403	8,876	8,876	8,876
材料費	4,851	5,165	4,892	4,949	5,890	5,901	5,901
薬品費	2,496	2,671	2,496	2,496	3,097	3,091	3,091
診療材料費	2,303	2,456	2,346	2,401	2,759	2,759	2,759
経費	3,111	3,492	3,755	3,580	3,741	3,661	3,660
減価償却費	1,814	1,862	1,863	1,873	1,922	1,723	1,301
その他医業費用	235	168	172	185	182	196	261
計(B2)	792	814	772	766	878	964	1,042
医業外費用							
特別損失	776	967	149	149	151	150	150
医業収支(X1=A1-B1)	△ 2,296	△ 2,744	△ 2,979	△ 3,062	△ 2,818	△ 2,259	△ 1,458
経常収支(X2=X1+A2-B2)	△ 843	△ 874	△ 1,060	△ 817	△ 625	△ 563	0
総収支(X=A-B)	△ 1,550	△ 1,509	△ 1,038	△ 966	△ 776	△ 713	△ 150

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
損益勘定留保資金(Y)	1,726	1,838	1,019	950	977	1,185	832

* 現金の支出を必要としない費用の合計額から現金の収入とならない長期前受金戻入額を差し引いた額(引当金を除く。)

② 資本的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
資本的収入 計(C)	722	1,565	1,707	986	1,238	891	2,383
企業債	503	233	410	219	428	462	1,800
長期借入金	37	47	64	94	75	86	97
一般会計繰入金	161	645	658	673	735	343	486
負担金	161	645	658	673	726	333	470
補助金	0	0	0	0	9	10	16
その他	21	640	575	0	0	0	0
資本的支出 計(D)	935	1,752	2,180	1,706	2,000	1,259	2,880
建設改良費	610	456	858	349	539	585	1,935
企業債償還金	277	1,254	1,285	1,316	1,417	608	877
その他	48	42	37	41	44	66	68
収支差し引き(Z=C-D)	△ 213	△ 187	△ 473	△ 720	△ 762	△ 368	△ 497

③ 単年度資金収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
単年度資金収支(X+Y+Z)	△ 37	142	△ 492	△ 736	△ 561	104	185

(2) 中期指標

項目		H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画	
① 良質な医療サービスの提供									
医療機能の充実	救急車受入(搬入)患者数	(人)	3,514	3,569	3,500	3,550	3,600	3,650	3,700
	高額手術件数(10,000点以上)	(件)	5,046	5,328	5,380	5,440	5,470	5,490	5,640
医療の安全と質の向上	インシデント報告件数	(件)	2,839	3,038	3,050	3,070	3,090	3,110	3,110
	クリニカルパス適用率	(%)	49.7	49.8	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0
患者サービスの向上	外来待ち時間 (予約時間終期～診療開始)	(分)	14	15	14	14	14	14	14
地域医療への貢献	患者紹介率	(%)	62.8	73.7	73.0	74.0	76.0	78.0	80.0
	患者逆紹介率	(%)	71.1	80.7	78.0	78.0	78.0	79.0	80.0
	紹介(受入)医療機関数	(箇所)	1,353	1,402	1,360	1,370	1,380	1,390	1,400
	公開講座等開催回数	(回)	22	11	22	22	22	22	22
② 医療人材の確保・育成									
医師の確保・育成	卒後臨床研修医充足率	(%)	76.0	75.0	77.4	93.5	100.0	100.0	100.0
医療スタッフの確保・育成	実習生受入人数(看護師)	(人)	501	470	500	500	500	500	500
	実習生受入人数(その他)	(人)	50	83	70	70	70	70	70
③ 災害等への対応力の強化									
大規模災害への対応力の強化	DMAT数(災害派遣医療チーム数)	(チーム)	3	3	4	4	4	4	4
	防災訓練回数(法定分を除く。)	(回)	5	5	5	6	6	6	6
感染症対策の推進	感染症専門医による研修会開催件数	(件)	1	1	2	2	2	2	2
④ 安定的な病院経営の確立									
収益の確保	稼働病床利用率	(%)	88.9	87.1	90.0	90.0	82.2	86.8	90.0
	患者紹介率(再掲)	(%)	62.8	73.7	73.0	74.0	76.0	78.0	80.0
	患者逆紹介率(再掲)	(%)	71.1	80.7	78.0	78.0	78.0	79.0	80.0
	入院単価	(円)	67,197	69,270	68,577	69,684	78,721	75,494	75,794
	外来単価	(円)	17,198	18,172	17,723	17,729	21,047	21,047	21,047
	1日平均入院患者数	(人)	447	439	454	460	426	459	476
	1日平均外来患者数	(人)	1,039	1,062	1,000	1,000	1,020	1,020	1,024
	新入院患者数	(人)	13,166	13,075	13,540	13,650	13,281	13,914	14,350
	新外来患者数	(人)	30,825	28,322	26,840	26,840	26,840	26,840	26,840
	救急車受入(搬入)患者数(再掲)	(人)	3,514	3,569	3,500	3,550	3,600	3,650	3,700
検診センター検診者数	(人)	9,050	8,061	8,801	8,837	8,837	8,837	8,801	

項目		H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
収益の確保	平均在院日数 (日)	11.8	11.7	11.9	11.9	11.5	11.4	11.5
	後発医薬品割合 (数量ベース) (%)	47.7	67.5	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0
費用の適正化	人件費比率[対医業収益比率] (退職給付費を除く) (%)	48.6	47.2	49.8	49.6	47.9	46.7	45.5
	人件費比率 [対医業収益比率] (%)	52.5	52.6	54.0	55.5	51.9	51.5	50.4
	経常収支比率 (%)	95.6	95.7	94.8	96.1	97.2	97.5	100.0
	医業収支比率 (%)	87.6	85.9	84.9	84.7	86.8	89.4	93.0
	材料費対医業収益比率 (%)	29.9	30.8	29.2	29.2	31.8	31.0	30.3
	うち薬品費対医業収益比率 (%)	15.4	15.9	14.9	14.7	16.7	16.3	15.9
	うち診療材料費対医業収益比率 (%)	14.2	14.7	14.2	14.2	14.9	14.5	14.2

3 丸亀病院

(1) 中期財政収支計画

① 収益的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
病院事業収益計(A)	1,620	1,595	1,643	1,654	1,689	1,709	1,706
計(A1)	989	976	1,015	1,017	1,089	1,096	1,103
医業収益							
入院収益	642	623	658	658	678	687	694
外来収益	320	325	329	332	360	360	360
その他医業収益	27	28	28	27	51	49	49
一般会計負担金	16	16	17	16	22	22	22
その他	11	12	11	11	29	27	27
計(A2)	630	619	628	637	600	613	603
医業外収益							
一般会計繰入金	572	565	561	562	559	559	559
負担金	572	565	561	562	559	559	559
補助金	0	0	0	0	0	0	0
長期前受金戻入	20	17	32	36	36	38	28
その他医業外収益	38	37	35	39	5	16	16
特別利益	1	0	0	0	0	0	0
病院事業費用計(B)	1,865	1,791	1,820	1,831	1,837	1,863	1,858
計(B1)	1,757	1,753	1,775	1,785	1,795	1,816	1,806
給与費	990	1,054	1,034	1,059	1,064	1,083	1,087
退職給付費	68	100	81	114	73	91	95
退職給付費以外	922	954	953	945	991	992	992
材料費	192	197	192	192	218	208	208
薬品費	183	189	183	183	208	197	197
診療材料費	6	6	6	6	8	9	9
経費	427	391	437	420	407	422	422
減価償却費	82	103	107	110	99	99	85
その他医業費用	66	8	5	4	7	4	4
医業外費用 計(B2)	46	37	44	45	41	46	51
特別損失	62	1	1	1	1	1	1
医業収支 (X1=A1-B1)	△ 768	△ 777	△ 760	△ 768	△ 706	△ 720	△ 703
経常収支 (X2=X1+A2-B2)	△ 184	△ 195	△ 176	△ 176	△ 147	△ 153	△ 151
総収支 (X=A-B)	△ 245	△ 196	△ 177	△ 177	△ 148	△ 154	△ 152

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
損益勘定留保資金(Y)	64	91	77	76	65	63	60

* 現金の支出を必要としない費用の合計額から現金の収入とならない長期前受金戻入額を差し引いた額(引当金を除く。)

② 資本的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
資本的収入 計(C)	169	43	80	97	50	113	47
企業債	153	33	51	66	17	79	24
長期借入金	5	3	7	6	6	5	5
一般会計繰入金	10	7	22	25	26	28	18
負担金	8	7	22	24	26	28	18
補助金	2	0	0	1	0	0	0
その他	1	0	0	0	1	1	0
資本的支出 計(D)	177	52	104	123	78	143	68
建設改良費	162	39	61	75	26	88	33
企業債償還金	12	10	40	45	48	50	29
その他	3	3	3	3	4	5	6
収支差し引き(Z=C-D)	△ 8	△ 9	△ 24	△ 26	△ 28	△ 30	△ 21

③ 単年度資金収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
単年度資金収支(X+Y+Z)	△ 189	△ 114	△ 124	△ 127	△ 111	△ 121	△ 113

(2) 中期指標

項目		H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画	
① 良質な医療サービスの提供									
医療機能の充実	救急患者の受入れ数	(人)	149	144	150	150	156	156	156
	デイケア患者数	(人)	7,218	7,547	7,500	7,550	7,550	7,600	7,600
	訪問看護患者数	(人)	1,053	1,002	1,050	1,050	1,100	1,100	1,100
医療の安全と質の向上	インシデント報告件数	(件)	546	360	400	400	420	440	450
	クリニカルパス適用率	(%)	94.5	99.3	96.0	97.0	98.0	98.0	98.0
患者サービスの向上	外来待ち時間 (受付時間～診療開始)	(分)	19.2	15.1	15	15	15	15	15
地域医療への貢献	患者紹介率	(%)	13.3	15.6	13.7	13.9	14.0	14.0	14.0
	患者逆紹介率	(%)	21.2	26.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3
	紹介(受入)医療機関数	(箇所)	69	68	60	63	65	68	70
	公開講座等開催回数	(回)	1	1	1	1	1	2	2
② 医療人材の確保・育成									
医療スタッフの確保・育成	実習生受入人数 (看護師)	(人)	284	290	290	290	290	290	290
	実習生受入人数 (その他)	(人)	8	15	13	15	15	15	15
③ 災害等への対応力の強化									
大規模災害への対応力の強化	防災訓練回数 (法定分を除く。)	(回)	11	11	11	11	11	11	11
④ 安定的な病院経営の確立									
収益の確保	稼働病床利用率	(%)	72.9	70.0	74.4	74.4	75.0	75.6	75.6
	患者紹介率 (再掲)	(%)	13.3	15.6	13.7	13.9	14.0	14.0	14.0
	患者逆紹介率 (再掲)	(%)	21.2	26.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3
	入院単価	(円)	15,467	15,564	15,550	15,549	15,870	15,900	16,120
	外来単価	(円)	9,856	10,312	9,950	9,993	10,315	10,315	10,315
	1日平均入院患者数	(人)	114	109	116	116	117	118	118
	1日平均外来患者数	(人)	133	130	136	136	143	143	144
	新入院患者数	(人)	164	172	186	192	192	192	192
	新外来患者数	(人)	843	611	618	624	624	624	624
	救急患者の受入れ数 (再掲)	(人)	149	144	150	150	156	156	156
	平均在院日数	(日)	253.2	227.2	228.6	221.5	222.4	222.1	221.5
費用の適正化	後発医薬品割合 (数量ベース)	(%)	31.5	36.2	33.0	32.0	32.0	34.0	35.0
	人件費比率[対医療収益比率] (退職給付費を除く)	(%)	93.2	97.7	93.9	92.9	91.0	90.5	89.8
	人件費比率 [対医療収益比率]	(%)	100.1	108.0	101.9	104.1	97.7	98.8	98.5
	経常収支比率	(%)	89.8	89.1	90.3	90.4	92.0	91.8	91.9
	医療収支比率	(%)	56.3	55.7	57.2	57.0	60.7	60.4	61.1
	材料費対医療収益比率	(%)	19.4	20.2	18.9	18.9	19.0	18.9	18.9
	うち薬品費対医療収益比率	(%)	18.5	19.4	18.0	18.0	18.0	17.9	17.9
	うち診療材料費対医療収益比率	(%)	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8

4 白鳥病院

(1) 中期財政収支計画

① 収益的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
病院事業収益計(A)	2,878	2,776	2,867	2,932	3,145	3,172	3,207
計(A1)	2,531	2,461	2,592	2,629	2,777	2,800	2,837
医業収益							
入院収益	1,601	1,487	1,606	1,640	1,663	1,686	1,723
外来収益	805	847	861	864	978	978	978
その他医業収益	125	127	125	125	136	136	136
一般会計負担金	50	52	50	50	60	60	60
その他	75	75	75	75	76	76	76
計(A2)	345	312	275	303	368	368	361
医業外収益							
一般会計繰入金	205	217	183	183	209	209	208
負担金	205	217	183	183	209	209	208
補助金	0	0	0	0	0	0	0
長期前受金戻入	108	65	72	92	135	130	125
その他医業外収益	32	30	20	28	24	29	28
特別利益	2	3	0	0	0	4	9
病院事業費用計(B)	3,069	2,965	2,937	3,038	3,342	3,263	3,267
計(B1)	2,824	2,827	2,797	2,900	3,185	3,113	3,109
給与費	1,394	1,404	1,415	1,482	1,508	1,536	1,542
退職給付費	89	130	107	151	109	137	143
退職給付費以外	1,305	1,274	1,308	1,331	1,399	1,399	1,399
材料費	606	600	581	622	788	718	718
薬品費	213	243	213	213	359	298	298
診療材料費	390	354	365	406	425	417	417
経費	525	547	550	533	599	583	583
減価償却費	282	254	217	244	266	259	249
その他医業費用	17	22	34	19	24	17	17
医業外費用 計(B2)	143	135	131	129	147	141	149
特別損失	102	3	9	9	10	9	9
医業収支 (X1=A1-B1)	△ 293	△ 366	△ 205	△ 271	△ 408	△ 313	△ 272
経常収支 (X2=X1+A2-B2)	△ 91	△ 189	△ 61	△ 97	△ 187	△ 86	△ 60
総収支 (X=A-B)	△ 191	△ 189	△ 70	△ 106	△ 197	△ 91	△ 60

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
損益勘定留保資金(Y)	211	207	172	164	144	136	126

* 現金の支出を必要としない費用の合計額から現金の収入とならない長期前受金戻入額を差し引いた額(引当金を除く。)

② 資本的収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
資本的収入 計(C)	150	166	484	232	186	188	174
企業債	39	100	411	139	45	44	28
長期借入金	11	11	8	12	13	12	12
一般会計繰入金	99	55	65	81	128	132	133
負担金	99	55	65	81	128	132	133
補助金	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	1
資本的支出 計(D)	252	225	552	315	316	321	308
建設改良費	51	111	420	152	59	57	41
企業債償還金	182	96	122	153	246	252	254
その他	19	18	10	10	11	12	13
収支差し引き(Z=C-D)	△ 102	△ 59	△ 68	△ 83	△ 130	△ 133	△ 134

③ 単年度資金収支

(単位：百万円)

項目	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
単年度資金収支(X+Y+Z)	△ 82	△ 41	34	△ 25	△ 183	△ 88	△ 68

(2) 中期指標

項目			H26実績	H27実績	H28計画	H29計画	H30計画	H31計画	H32計画
① 良質な医療サービスの提供									
医療機能の充実	救急車受入(搬入)患者数	(人)	914	940	935	940	945	945	950
	高額手術件数(6,000点以上)	(件)	1,037	993	980	1,010	1,040	1,070	1,100
	訪問看護患者数	(人)	441	567	600	600	600	600	600
	訪問診療患者数	(人)	271	254	265	266	267	268	270
医療の安全と質の向上	インシデント報告件数	(件)	468	377	440	460	490	520	550
	クリニカルパス適用率	(%)	41	46	46	46	46	46	46
患者サービスの向上	外来待ち時間 (予約時間始期～診療開始)	(分)	-	50	48	46	44	42	40
地域医療への貢献	患者紹介率	(%)	22.4	21.6	22.0	22.3	22.6	22.8	23.0
	患者逆紹介率	(%)	14.3	13.5	14.0	14.8	15.6	16.4	17.3
	紹介(受入)医療機関数	(箇所)	232	218	225	230	235	240	245
	公開講座等開催回数	(回)	13	14	16	16	16	16	16
② 医療人材の確保・育成									
医療スタッフの確保・育成	実習生受入人数(看護師)	(人)	46	43	43	43	44	45	46
	実習生受入人数(その他)	(人)	11	14	14	14	14	14	14
③ 災害等への対応力の強化									
大規模災害への対応力の強化	防災訓練回数 (法定分を除く。)	(回)	1	3	3	4	4	4	4
④ 安定的な病院経営の確立									
収益の確保	稼働病床利用率	(%)	66.1	61.4	62.5	65.0	70.3	71.0	72.3
	患者紹介率(再掲)	(%)	22.4	21.6	22.0	22.3	22.6	22.8	23.0
	患者逆紹介率(再掲)	(%)	14.3	13.5	14.0	14.8	15.6	16.4	17.3
	入院単価	(円)	44,254	44,089	44,453	44,502	43,183	43,250	43,500
	外来単価	(円)	7,346	8,039	7,873	7,873	8,548	8,548	8,548
	1日平均入院患者数	(人)	99	92	99	101	106	107	109
	1日平均外来患者数	(人)	449	434	450	450	469	469	471
	新入院患者数	(人)	2,244	2,178	2,168	2,200	2,143	2,264	2,300
	新外来患者数	(人)	11,678	11,488	11,460	11,570	11,680	11,790	11,900
	救急車受入(搬入)患者数(再掲)	(人)	914	940	935	940	945	945	950
平均在院日数	(日)	16.0	15.5	15.4	15.3	18.0	18.0	18.0	
費用の適正化	後発医薬品割合(数量ベース)	(%)	63.6	68.9	68.0	70.0	73.0	77.0	80.0
	人件費比率[対医療収益比率] (退職給付費を除く)	(%)	51.6	51.8	50.5	50.6	50.4	50.0	49.3
	人件費比率[対医療収益比率]	(%)	55.1	57.0	54.6	56.4	54.3	54.9	54.4
	経常収支比率	(%)	96.9	93.6	97.9	96.8	94.4	97.3	98.1
	医療収支比率	(%)	89.6	87.1	92.7	90.7	87.2	89.9	91.2
	材料費対医療収益比率	(%)	23.9	24.4	22.4	23.7	28.4	25.6	25.3
	うち薬品費対医療収益比率	(%)	8.4	9.9	8.2	8.1	12.9	10.6	10.5
	うち診療材料費対医療収益比率	(%)	15.4	14.4	15.4	15.4	15.3	14.9	14.7

県立病院事業会計における累積欠損金等の整理について

1 現 状（平成29年度決算）

- ・平成29年度末累積欠損金 216億円
- ・上記のうち、平成20年度に廃止した津田診療所と平成25年度に中央病院へ機能統合したがん検診センターの累積欠損金（61億円）の整理

⇒県としてその処理の検討が必要（別紙「平成29年度香川県公営企業会計決算審査意見書（抜粋）」参照）

2 地方公営企業法の改正

平成23年の地方公営企業法の改正により、議会の議決を経て、資本金の額の減少、資本剰余金の処分ができることとなった。

（地方公営企業法適用の香川県以外の県立病院事業34都道府県中、議会の議決を経て、

13県が資本剰余金を処分、1県が資本金の額を減少）

3 対 応

監査委員による決算審査意見などを踏まえ、県立病院事業会計における経営基盤の強化を図るため、総務省の基準に基づく一般会計からの繰入金を資本金として算入していたこれまでの会計処理が変更されたことを踏まえ、地方公営企業法の規定に基づき、資本金の額の減少及び資本剰余金の処分（約180億円）を行い、津田診療所及びがん検診センターを含めた県立病院事業会計の累積欠損金を整理する。

累積欠損金を整理するための関連議案を、決算の認定を受けた後、2月議会に提案する予定とする。

4 整理後

- ・累積欠損金 216億円 → 約30億円
- ・併せて津田診療所とがん検診センターの累積欠損金の解消

○「平成29年度香川県公営企業会計決算審査意見書（抜粋）」

病院事業会計全体の累積欠損金は、216億12百万円となり、純資産は1億67百万円に減少した。昨年も意見として述べたが、平成25年度に中央病院と機能統合したがん検診センター及び平成20年度に廃止された旧津田診療所に係る累積欠損金は61億29万円となっていることから、今後、県としてその処理について検討する必要がある。

○繰入金に関する会計処理

